

# 鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髄がある

■ジューキマシンは精密工学の結晶とたたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

## ジューキ

東京重機工業株式会社

# 速報 世界選手権幕開く

日本は 9位決定へ

日本は悲願のベストエイト入り  
をまったく惜しいところでのがし  
た。

第7回世界男子7人制ハンドボ  
ール選手権大会は、2月26日から  
3月8日までの日程でフランスに  
世界の強豪16ヶ国が参加、その幕  
をあけた。4ヶ国づつ4組に分け  
られた予選リーグは2月26、28、  
3月1日の3日間、フランスの主  
要8都市で激戦を展開した。

アジア大陸代表として4回目的  
出場をした日本(田村正衛団長、  
村田弘監督ら16人)は予選リーグ  
B組でチェコ、ユーゴ、アメリカ  
と対戦。その結果1勝1分1敗の  
成績に終わり、惜しくもベストエ  
イト入り(決勝トーナメント出場)  
を果たすことができず各組3位に  
よる9位決定リーグ戦(3月3日か  
ら6日まで、パリ)へのぞむこと  
になった。

## 後半の粘り及ばず

日本の第1戦・チェコとの試合  
は2月26日午後8時30分からペイ  
ヨンスで行われ、日本は前回優勝  
国チェコに対してスタートから激  
しい斗志でぶつかったが、前半10  
分をすぎたあとは相手のペース。  
後半の粘りも空しく敗れた。

チェコ 19(8-12)9日 本  
〔日本の得点〕 木野2、野田2、  
近藤2、近森1、東1、早川1

## 日本、あと1点に泣く

第2戦ユーゴとの試合は2月28  
日午後9時からアジエンで行われ  
た。必勝の意気に燃える日本は、  
前半ユーゴのリードを許したが、  
後半になってすばらしい反撃を示  
し大会史上でもまれにみる激戦と  
なった。ユーゴも懸命に防戦、と  
もに最後の1点を奪うことが  
できぬまま引き分けに終わった。

日 本 21(11-7)15 アメリカ  
〔日本の得点〕 記録未着

## ▽B組このほかの試合

ユーゴ 34-8 アメリカ  
チェコ 23-9 アメリカ  
チェコ 16-15 ユーゴ  
この結果B組は①チェコ②ユー  
ゴ・日本となったが決勝トーナメ  
ントへは得失点差にまさる(ユー  
ゴプラス25、日本マイナス4)ユ  
ーゴが進んだ。

## ルーマニアなど決勝へ

予選リーグの結果、決勝トーナ  
メントへ進出する8ヶ国は次のと  
おり決まった。

スウェーデン、東独、チェコ、  
ユーゴ、ルーマニア、西独、デン  
マーク、ハンガリー

## 9位決定

▽3月3日 日本-  
ポーランド、フランス-  
スロベニア▽4日 日本-  
フランス、ポーランド-スロベニア▽6  
日 日本-スロベニア、フランス-  
ポーランド

184 彦洋 昭彦 行実 敏清 孝二 男三  
178 敏 奉英 信克 誠 一 清憲 光武  
177 里田 野名 藤森 田野 田川 中藤 井  
182 下本 竹江 近飯 木東 野早 藤 斎中  
180 K F

180 トンク スクンク スンスト ダナイ バク  
177 スパン  
174 ノルムレ  
178 シア リバ マ ナ 一 ニラ サ  
182 カリ コヴ ブル ー ネ ラ ル ク ト ツ  
186 ア スク マ ルカ ハ ホ ハベ クズ ブ コ サ カ  
180 K F

180 クク ルク クク クク クク クク クク  
189 イナ バ ニ タ ク ト ク ク ク ク ク ク  
178 テラ パ ス ビ ル ニ ヤ リ ビ キ ビ リ  
177 スル リ グ ポ ル ブ ク ラ ル ガ ザ ク ル ア  
181 コ ア メ リ ガ ホ ホ ラ ポ カ ミ ブ ラ ヤ ク フ  
191 K F  
190  
192  
183  
184  
185  
177  
187  
196  
182  
180

183 スイ テ ツ ク ク ラ イ ー ク テ ン ス ト イ  
188 レウ ホ ー カ ベ デ ラ ム ウ ー ク テ  
175 ル セ ク レ ン パ ッ シ ン セ リ イ  
180 エ ゲ B ベ ド ダ ユ ラ マ ネ ポ K サ ト ウ  
188 K F  
183  
183  
185  
183  
178  
183  
193  
190  
185  
183

【日 本】

【チ ェ コ】

【ユ ー ゴ】

【ア メ リ カ】

## 「ハンドボール」

3月号(第73号) 目次

- 世界選手権予選リーグ速報……………(1)
- ベストセブン優秀チーム……………(2)
- 決まる……………(2)
- 年少層対象の事業を研究……………(3)
- 大詰めの全国大会再検討……………(3)
- 全国評議員会理事会開かる……………(4)
- 第10回全日本実業団選手権……………(6)
- 球界パトロール……………(11)
- 1969年を回顧する……………(12)
- 昭和45年度の規則改正について……………(16)
- 審判部長 安藤純光……………(16)
- ハンドボール研修会報告……………(19)
- 現代スポーツ論 神田順治……………(19)
- 1969年重大ニュース……………(25)
- 海外トピックス……………(29)
- 高体連部長就任挨拶……………(29)
- 高体連部長に徳永氏……………(28)
- 実連理事長に田中氏再選……………(28)
- 全日本学生連盟規約……………(28)
- 西日本選手権……………(29)
- 各地の記録……………(29)
- 編集後記……………(32)
- 表紙写真第7回世界選手権選手団……………(32)

(於羽田空港2月14日)

# 全日本ベストセブン決まる

## 優秀チームに全立教と大洋一ト

日本協会は2月20日、昭和44年度全日本最優秀チームと全日本ベストセブンを別表のように発表した。

優秀チームはこれまで4、5チームが推せんされてきたものが今年度は「最優秀」として目立つ。FPは四冠王大洋デバ男子は全日本総合優勝の全立教一トの主力枝尾、渡辺が2年連続のほか垂水が小林とともに2年全国タイトルを独占した大洋デバ一ト(熊本)の各1チームだ。受賞も話題だ。

女子は、GKが久しくナンバ一ワンの座にあった渡辺美(田村紡)から小原にかわったのが目立つ。FPは四冠王大洋デバ男子は全日本総合優勝の全立教一トの主力枝尾、渡辺が2年連続のほか垂水が小林とともに2年全国タイトルを独占した大洋デバ一ト(熊本)の各1チームだ。受賞も話題だ。

ベストセブンは、男子は当然は2年連続。なお別表○内数字はベストセブンのなかから選考、最高に選考されたものとなる。木野、近藤の3年連続が光る。代の受賞も含んだ教である。

○…優秀チーム…○

男子・全立教(東京)  
女子・大洋一ト(熊本)

○…ベストセブン…○

【男子】

GK	本	洋	(日)	体	大	②
FP	近	彦	(大)	崎	電	③
	木	実	(全)	立	教	⑤
	野	清	(全)	立	教	②
	東	一	(大)	崎	電	②
	藤	憲	(日)	体	大	①
	近	藤	(大)	崎	電	④

【女子】

GK	小	名	(大)	洋	デ	①
FP	垂	水	(大)	洋	デ	②
	渡	須	(大)	洋	デ	②
	蓮	見	(三)	菱	鉛	②
	小	五	(田)	村	紡	②
	木	幡	(大)	崎	電	①
	枝	尾	(大)	洋	デ	②

### 強化委、ミュンヘン対策へ

#### 45年度活動方針まとまる

頂点強化を推進する選手強化対策委では、二年後に迫ったミュンヘン・オリンピック対策の第一段階として昭和45年度活動方針をまとめ、全国評議員・理事会席上で村田委員長が発表した。

世界選手権の結果によってオリンピック対策は変動も予想されるが、斯界はじめての大事業だけにその成果は大いに期待され、全国関係者の協力が望まれよう。

昭和45年度の活動方針は後掲のようなのだが、注目されるのは優秀トレーナーの研究会(5月、12月)と高校優秀選手の合宿(8月)を計画していることだ。

トレーナーの研究会は有力チーム指導者の意見を聞く一方、強化対策委の指導方針を説明するため開くもので、指導体系一貫化という宿願を達成する最初の試みとして大きな意味をもってこよう。

高校優秀選手合宿は、全国高校連との最終的協議が残されており現時点では具体案が示されていないが、長期的なトップレベル強化には高校界、ジュニア界の指導は欠かせないものである。

なお、選手強化対策委規程の新設も予定されており、早ければ4月から施行したい意向だ。

また、選手強化対策委員会機構については、村田委員長(全日本

男子監督)が帰国後、構想が明きらかにされる予定。

○：昭和45年度、選手強化対策委事業…○

- ▽5月 全日本男子強化合宿
- ・ 優秀トレーナー研究会
- ▽8月
- ・ IHFコーチンボジウム(2日)7日・ストックフォルム)
- ・ 全日本男子強化合宿
- ・ 全日本女子強化合宿
- ・ ミュンヘン対策コーチ会議
- ・ 高校優秀選手(男女)合宿
- ▽9月
- ・ 国際試合(東京ほか)
- ▽12月
- ・ 全日本男子強化合宿
- ・ 優秀トレーナー研究会
- ▽46年2月
- ・ 昭和46年度ナショナル候補選手決定
- ・ ミュンヘン対策コーチ会議
- ▽同3月
- ・ 全日本男子強化合宿
- ・ 全日本女子強化合宿

9月4日から国際試合予定

日本協会では、今秋の国際試合(ヨーロッパチーム招待)について協議を重ねて来たが、国内事業の日程とらみあわせ9月4日、24日帰国の21日間(8試合)という基本案を決定した。

招待チームは、予定された西ドイツ、ソビエトがナショナルチームの編成が困難と伝えられたため断念。世界選手権に出場する田村会長、村田監督に来日交渉を一任することになった。

荒川理事、村田委員長両氏は「原則として世界選手権のベストエイトに残った国」といつており強力チームの来日が期待される。

なお、各国ともナショナルチームの編成が難しい場合は、有名単独クラブになることもあるが、その場合は今シーズンのヨーロッパカップベストエイトのうちが望ましいとしている。

### 韓国学生再来日は8月?

韓国協会はこのほど日本協会あて、今シーズンの学生交流について8月上旬の10日間に韓国学生ナショナルワンチーム(単独校)を訪日させたいと連絡して来た。全日本学連では7月上旬を予定していたため急ぎ協議する。

### 新たに「普及・登録部」

田村会長はさきの全国理事会、評議員会席上、新年度から協会機構を一部改める意向を明らかにした。これまで副会長(3名)が各専門部を統括していたのを一切廃止し、また技術部と選手強化対策委員会の事業重複をさけるため技術部を「普及・登録部」に改編、同部が底辺活動を、強化委が頂点活動をそれぞれ担当させる。

# 年少層対象の事業を研究

## 45年度は地域単位に促進

日本協会では学徒対外試合規制（次官通達）の一部緩和による年少層を対象とした事業の開催について検討を進めることになっていて、新年度はあくまでこの層への競技浸透を重点にして、全国的な催しは行わない意向だ。

これまで、この問題について日本協会は本格的な協議を行って、1月24日の全国理事会で宮崎常務理事（西副会長の代行として）体協競技力向上委員会出席）から今回の緩和のアウトラインを聞いたあと、荒川理事長が『昭和45年度は、地域（ブロック）を単位とした中学校大会を促進することに留め、全国的な大会は今後の研究課題にする』と見解を述べたにどまっている。

2月14日の常務理事会でもいおう議題になったものの、大きな進展はなく、むしろ中学ハンドボールの実態を正確につかみ、いっそうの普及を企むことが先決という意見が支配的であった。

母体ともいうべき「中学球界」「少年球界」がかたまらぬうちに全国的事業を行うことはたしかに危険な面もあり、慎重な方向づけは必要であろう。

しかし、年少層への普及——さ

らには全国事業の実施による刺激から競技力向上と底辺拡大の両面が飛躍することは明きらかであり荒川理事長を中心に、場合によっては特別委員会を編成して、早ければ46年度にはなんらかの「形」が整えられるかも知れない。

現在、ブロックの大会を行っているのは近畿地区（近畿中学校総合体育大会の一つとして）だけで新年度から東海地区、北陸地区がと伝えられるが、全地域が出揃計画しているのは、各地域の事情、考えかたの違いもありかなり時間がかかるとみなければならぬ。

したがって各地域の育成を待つて全国大会へとステップを踏むことは遠い将来になってしまうわけだが、日本協会としては、そこまで段階を経ることは考えていないようだ。

常務理事会では雑談的に「全国少年（少女）ハンドボール大会」を計画したらといった意見も出されてきたが、全国事業が近いうちに具体化されるとすれば、そうした色彩の濃い内容のものとなるうこれとは別に、高校界でも現行の全日本高校選手権（インター・ハイ）、国体高校の部のほか、もう一大会開催できるようにした

が、日本協会では全国高体連ハンドボール部側の意見を聞いて善処することになっている。

なお、日本協会総務企画部では

# 大詰めの全国大会再検討

かねてから日本ハンドボール界の最大課題となっている、全日本選手権再検討問題<sup>ハ</sup>は、若崎常務理事を委員長とする小委員会を組んで研究を重ねているが、委員の意見調整などに手間どり結論を得るまでに至っていない。

問題の焦点となっているのは本誌でも再三伝えられているように全日本総合選手権と全日本選抜選手権の取り扱いにある。

現在、二大会をめぐって出されている意見を総合すると、

①、全日本総合を文字通り国内最高の選手権とするため開催期日を8月から冬季（11月～1月）に移す。

②、全日本選抜は発展的解消するか、年度上半期（4月～7月）に移す。

③、全日本総合の開催地を国体開催地の前年に持ちまわるといふ慣習をなくし、例えば東京、大阪、名古屋あるいはその周辺都市に限定する。

④全日本総合の男子参加数を1、32とする（現行のまま）

3月中に各都道府県協会から各県下の中学ハンドボール界の実情、ハンドボール少年団活動の現状などの報告をうける予定。

ロ、16とする  
ハ、8とする

⑤、全日本選抜の出場チームを各加盟団体の選抜チームとし、オールスターゲーム的内容とするといったように集約されそうだ。

このうち①と③は特に強い関連があり（冬季開催となれば地方での体育館確保が難しい）国体開催が運営上のリハースルを必要とする場合は教職員、学生、実業団の全日本選手権を招致したらどうかという意見もある。

全日本総合の試合方法については、かつての自由参加時代から地域予選を含む推せん制時代を経てそろそろ、最精鋭による大会へ煮つめなおしてもよいという考えかたがあり、それも世界選手権方式（16チームを4組の予選リーグのあと、各組2者による決勝トーナメント）あるいは予選リーグ・決勝リーグ制、さらには男女別開催という提案もあるようだ。

いずれにせよ、昭和46年度から両大会の手直しは必要であり、それにともなつて国内球界のシーズ

は、

### 児童生徒の参加する学校教育活動外の運動競技会の基準要点

◎全国的大会及び地域的大会の主催者は原則として「競技団体」と「学校体育団体」の共催とする。

◎12才以下の児童を主な対象として行う競技会は都道府県まで、12才以上15才以下の生徒を主な対象として行う競技会は原則として地域（ブロック）大会までにとどめて全国的大会は行わない。しかしを選抜して行う地域的大会、全国的大会については青少年運動競技中央連絡協議会（注・体協、高体連、中体連など全国組織9団体を中心に編成）にはかり、適性と認められるものに限り実施できる。

◎児童生徒を主な対象とする地域的大会および全国的大会の開催回数はその年間の程度にとどめる。

▽15才以下の児童・生徒

地域的大会	1回
全国的大会	1回

▽15才以上の生徒

地域的大会	2回
全国的大会	3回

（文責・編集部）

ン制というものがかなり変動・確立されることになりそうだ。

なお、国体の種別地域割り当ての再検討（修正）も小委員会ですすめられる予定。

# 登録料の値上げ正式決定

(一般 二千元)  
高校 千円

## 全国評議員会・理事会開く

### 全国評議員会

2月1日午前11時から体協三〇  
一会議室に田村会長、西、保坂、  
渡辺副会長、8評議員(秋田・由

利、福島・熊田、新潟・渡辺、大  
阪・野原、滋賀・尾本、広島・丸  
口、福岡・小袋、高体連・徳永、  
委任状25通)と、日本協会荒川理  
事長、山田監事、安藤審判担当常  
務理事ら執行部主要役員が出席し

て開かれた。  
全国理事会の承認を経由したチ  
ーム登録料については、ほとんど  
異議なく議決されたが、「今後二  
〜三年間は値上げできないと思っ  
が、膨脹する支出にどのような収  
入源をあてるか」(野原評議員)、

「一般を学生、実業団、クラブに  
分ける方法は考えられぬか」(熊  
田、渡辺両評議員)、「地方協会へ  
の還元を考りよすべしだ」(丸口  
評議員)といった質問が行われた  
これに対し田村会長、荒川理事  
長は、「収入源として競技収入(主  
に国際試合の開催)をあてる。  
一般の種別をさらに細分化するこ  
とは自分のあいだ考えない。下部  
への還元は研究するが、とりあえ  
ず今年度は高体連に運営費の補助  
を考える」などの意向を明らかに  
した。

日本協  
会全国評  
議員会は  
2月1日の会議で規約第3章第16  
条3項「会長、副会長は理事とな  
る」を扶消することを議決した。  
したがって、副会長は今後評議  
員会、理事会、常務理事会にその  
資格をもって出席、意見を述べる  
ことになった。

### 全国理事会

1月24日午後1時から体協四〇  
一会議室に田村会長、西副会長、  
荒川理事長、山田監事ら25名(欠  
席9名)が出席して開かれた。  
最大の具案とみられた日本協会  
財政の再建については本誌既報の  
とおり、森岡財務担当常務理事、  
財源検討委員会委員長嶋田常務理  
事の説明を聞いたのち、45年度以  
降毎年度に予想される収支差額マ  
イナス百三十万円を補うには、チ  
ーム登録料、用具検定料の値上げ  
はやむを得ないという結論に達し  
財源検討委員会案として示された

### 昭和45年度事業日程

- ▽昭和45年度全日本審判員研修会(5月・東京)
  - ▽第2回全国自衛隊選抜大会(6月20・21・22日・東京駒沢)
  - ▽第21回全日本高校選手権(8月3日〜8日・彦根市)
  - ▽韓国学生チーム招待(8月上旬(?)・東京ほか)
  - ▽第3回日韓高校交歓スポーツ競技会(8月中旬・ソウル=予定)
  - ▽第13回全日本教職員選手権(8月14日〜16日・四日市市)
  - ▽全国中学校指導者講習会(8月中旬・四日市市=予定)
  - ▽第22回全日本総合選手権(8月18日〜22日・和歌山県打田町)
  - ▽ヨーロッパチーム招待(9月4日〜24日各地=予定)
  - ▽第20回全日本学生選抜東西対抗(9月6日・名古屋市)
  - ▽第25回国民体育大会ハンドボール競技(10月10日〜15日・盛岡市)
  - ▽第13回(女子第6回)全日本学生選手権(11月・大阪)
  - ▽第17回全日本選抜選手権(12月16日〜20日・東京)
  - ▽第11回全日本実業団選手権(未定)
- ×
- ▽公認審判員研修会(8月・彦根市・8月四日市市・10月盛岡市、46年2月末未定)

都道府県協会の加盟金は一万円  
五千円の二本建てとすることに決  
まったが、未納県(協会)に対す  
るペナルティを来年度から厳しく  
課すべきだという声が強かった。  
ちなみに昭和44年度の加盟金未  
納は11協会(2月1日現在)であ  
る。

注目されたのは「国体のプロッ  
ク割り当て数の改正提案」(小袋  
評議員)。特に一般男女が古いデ  
ータのまま施行されている点に  
意見が出され、全日本選手権検討  
委員会が4月までに検討を加える  
ことになった。  
このほか45年度事業、44年度全  
日本優秀チーム、同ベストセブン  
(男女)の何れも別掲IIが承認さ  
れた。

国際試合については、オリンピ  
ックを控えて、出来るかぎりヨ  
ロッパチームを招へいするという  
方向が打ち出され、今秋の交流に  
ついては執行部私案「9月4日  
24日に8試合の線にそって、訪欧  
する田村会長、村田選手強化対策  
委員長(全日本監督)が外国協会  
関係者と折しよう、3月中旬まで  
に計画を固めることに決めた。  
なお、46年度も9月に国際試合  
(招待)を行うことを申しあわせた  
全日本学連による韓国学生招待  
(別掲)、高体連の第3回日韓高  
校交歓スポーツ競技会派遣も承認  
された。  
また、8月6日からストックフ  
ォームで開かれるIHFFコーチン  
ンポジュームと、秋にブラハで行  
われる第13回IHFF総会にそれぞ  
れ代表を送ることも決まった。

いちがいがあり荒川理事長がなお折しようすることになった。

また、都道府県協会加盟金、個人登録料（一般男女）についても議論されたが、いずれも現行額にすえおくことになり、都道府県協会加盟金は、登録チーム数が10以下の場合、現行の半額五千円に値上げし、そのかわり期限までに納入しない協会に対しては、徴罰を課することになった。

昨年10月15日現在、登録チーム数が10以下の都道府県は鳥取、島根、宮崎、佐賀の4協会である。

### 「選手権の検討」を再確認

かねてから検討が望まれている各全日本選手権の開催期日については小委員会の意見がまとまっていなかったため、協議されるまでにいたらなかった。

しかし、全日本総合と全日本選抜の性格、開催期日、内容などの改訂を望む声は特に強く3月までに小委員会が作業を進めることになり昭和46年度から実施できるものは移行することも申し合わせた。（関連記事・3項参照）

このほか、今年8月和歌山県打田町で行われる第22回全日本総合選手権の男子推せんチームは全立教（東京・前回優勝）、大崎電気（埼玉・前回2位）の両チームとする事が決定した。全国選抜自衛隊大会についてはハンドボール

が自衛隊の正式訓練科目へ加わるまで日本協会主催の公式事業として開催することに決まった。

### A・B級審判員にテスト考慮

審判技術の向上を企てる審判部の構想も注目された。

安藤審判担当常務理事によれば、終身資格の現行のライセンス制度を改めるためA・B級審判員には実技とペーパーテストを実施するほか、全国大会の担当審判員をこれまでの各地区選出者のほか本部指名の審判員を加えるなどというもので、将来は高いレベルを持った特定の審判員によって「全日本選手権審判団」（仮称）を編成する意向も初めて明らかにされた。

なお、A・B級取得者は2年毎に資格更新（更新料三百円）を行わねばならなくなった。

### 中学校指導者講習会実施へ

昭和47年度からの中学校体育指導要領復活に備えて技術部と全日本教職員連盟からそれぞれ「中学校指導者講習会」の企画が出されたが、日本協会主催による一本化が望ましくして、文部省の協力を得たうえで改めて具体案をねることになった。準備が間にあえば8月四日市市で開かれる第12回全日本教職員選手権の時に第1回講習会をもつ。

このほか、日本協会旅費規程の一部改正が総務企画部から提案され、これまでいまいだつた大会々長、大会委員長、審判員の旅費は国鉄運賃にグリーンA料金と急行券を支給することに統一（ただし団体、高校総体は除く）、他の役員は自分のあいだ国鉄運賃に急行料という現行規定にすえおくこととした。旅費規程に限らず日本協会の諸規程が有名無実なため、早急に「日本ハンドボール協会規程集」を刊行、諸規程を忠実に施行も確認された。

### 緩和された国際交流規制

今秋の国際試合については別掲詳報のとおりだが、これまで日本協会（本部）だけに限られていた国際試合の企画・実施を、実行能力さえあれば各都道府県協会、各加盟団体はもとより一チーム単位でも認めるべきだという意見が出され、「企画段階で日本協会（理事会）の承認を得ること」を条件に制限緩和に踏み切った。

この結果、今後は単独チームの国外遠征や、地方協会単位の国際試合の実施が容易になるわけだ。

海外駐在理事に河内氏推せん  
日本協会では、海外駐在理事として、前日本協会常務理事でミラノに在住中の河内鋭雄氏（東大O B）を推せんすることに決めた。

## 45年度予算原案決まる

2月14日体協が開かれた常務理事会は、全国評議員会・理事会の承認にもとずいて田村会長が昭和45年度予算原案を示し質疑ののち別表のように内定した。

この額にそって各専門部がさらに細部的な予算を組み、4月中旬東京で行われる予定の全国評議員会、理事合同会議に提出することになった。

事業費の内訳は別表のとおりだが、頂点強化に関連する経費百九十万円が計上されているほか中学校体育指導要領への復活（47年

### 関東協会の事業日程

関東協会は45年度の大大会日程を次のように決めた。44年度流会した関東実業団については未定。

▽第22回全日本総合関東選手権（6月28日・土浦市）▽第16回関東高校選手権（7月22・25日・秩父市）▽第17回関東選手権II 団体関東予選（8月29、30日、栃木市）

【収入の部】	440	2600	1650	170	2000	1000	2200	600	200	500	40
加登検査購広補											
競技力向上補助金											
寄雑											
計		11400									
【支出の部】	3700	1050	3700	2550	400						
本部費											
事業費											
計		11400									

審判指導者	500
講習会	300
強化日本選抜	100
強化日本選抜	1200
強化日本選抜	100
強化日本選抜	250
強化日本選抜	600
強化日本選抜	100
強化日本選抜	100
強化日本選抜	250
強化日本選抜	200
計	3700

(単位千円)

# 大洋デパート4冠王の偉業なる

～ 男子トーナメントは宗形製作所 ～

## 大崎電気(男子)はついに10連勝

### 第10回全日本実業団選手権

名古屋市

10回目を迎えた全日本実業団選手権は2月7日から11日までの5日間、名古屋市の愛知県体育館(8日のみ名古屋市体育館併用)に男子40、女子6チームが参加して開かれた。

注目の女子は、国内最強6チームが総当りで対戦、はげしい斗志のぶつかりあいとなったが、史上3度目の「四冠王」を狙う大洋デパート(熊本)が地方を示して連勝、ついに今年度の四大全国タイトル(全日本総合、国体、全日本選抜、全日本実業団)の独占に成功したしかし、最終戦で田村紡(三重)の斗志の前に1敗を喫し、全勝で偉業を飾ることはできなかった。

男子は、前回のベストエイトによる高松宮杯リーグとその他の32チームによる日本協会杯トーナメントが行われた。

ベストエイトによる争奪は、常盤・大崎電気(埼玉)が主力6選手を世界選手権代表へ送ってチーム力を低下させながら、秀れた攻守で快勝、10連勝をとげるとともに第1回大会以来、44試合連勝をマークした。一方のトーナメントは、古豪宗形製作所(大阪)が長崎国体3位の本田技研(三重)を制し優勝した。

### 三景、常盤、住化らの挑戦及ばず

#### 男子リーグ(高松宮杯)

▽予選リーグA組

大崎電気 20(19|6) 12 日進商会(埼玉)

常盤工業 不戦勝 千代田印刷機製造(岐阜)

常盤工業 21(11|10) 15 日進商会

大崎電気 不戦勝 千代田印刷機製造

日進商会 不戦勝 千代田印刷機製造

大崎電気 26(14|12) 15 常盤工業

常盤 1505040 島橋井田村野野

常盤 中高山島丹大

常盤 上村野岡口田藤田

常盤 井西旗平谷太佐沢

常盤 084711212

三景 23(17|6) 15 住友化学

富士製鉄 26(14|12) 18 京浜

富士製鉄 26(13|14) 10 名古屋

住友化学 24(15|9) 7 日本鋼管

三景 26(13|13) 16 京浜

三景 26(11|15) 16 京浜

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 8(7|9) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

住友化学 15(7|6) 15 名古屋

#### 年次優勝チーム

【男子】	① 大崎電気 (10連勝)	紡紡紡京東ト紡紡ト
【女子】	① 大崎電気	知知知 東電
	② 住友化学	ナウ崎デ 村村
	③ 富士製鉄	大田田 洋洋
	④ 京浜	大田田 洋洋
	⑤ 京浜	大田田 洋洋
	⑥ 京浜	大田田 洋洋
	⑦ 京浜	大田田 洋洋
	⑧ 京浜	大田田 洋洋
	⑨ 京浜	大田田 洋洋
	⑩ 京浜	大田田 洋洋

【住化】原行藤井嶺藤海剛代山石  
【三景】原行藤井嶺藤海剛代山石  
【富士製鉄】原行藤井嶺藤海剛代山石  
【京浜】原行藤井嶺藤海剛代山石  
【住友化学】原行藤井嶺藤海剛代山石

3分間に加藤が3ポイントして再び優勢となった。

残り5分、ともに動きが固くなりチャンスをつかめなかったが富士鉄は28分細川が同点のゲットを決めて引き分けに持ちこんだ。

○……三景×住化は前半、住化の運攻ペースに三景がのって接戦となったが、後半は三景が尾形の好配球から高梨、山原が鮮やかなプレーで得点を重ね特に後半10分から10分間に連続10ゴールを奪った多彩な攻撃はみごと。GK西牧の成長したプレーもよかった。住化は自分の得意な形にはまるとよいが、いつたん動きがまとまると次の決め手に欠ける。

常盤、三景を追いこめず

▽決勝リーグ

三	景	24	1311	11	20	常盤工業
得0	3	6	0	6	1	4
常盤	島橋	井田	村野	野		
【渡】	中	高	安	山	島	丹
GK						
	FP	審	丸	岡	前	
景	牧	村	形	梨	藤	原
【三】	西	竹	尾	高	内	山
得0	1	3	5	3	6	6

24 (1) 7MT (2) 20

○……常盤は相手のミスパスからの速攻やラッキーな得点を重ね11分6-3としてペースに乗ったかみえたのだが、そのあと高橋をマークされてから動きが鈍り三景

に反撃機を与えてしまった。

リードされながらも三景は抜群の球捌きを見せた尾形の巧技から着々と得点を返し19分6-6と追いついたあと一気に5ポイントを加え逆転した。後半、常盤も速攻から20分には19-20と追いあげたのだがそこで途切れ、山原の果敢なプレーを活かした三景のポストプレーにゴールを割られ敗れた。(丸口)

大崎電気	14	6	1	3	9	住友化学
得0	0	0	3	2	3	1
【住】	季	神	長	加	落	白
GK						
	FP	審	丸	岡	村	
大崎	電	気	14	6	1	3
【原】	代	嶺	藤	海	石	剛
GK						
	FP	審	丸	岡	村	

14 (2) 7MT (0) 9

○……立ちあがりの動きはともに鈍く15分まで大崎3-1という貧打戦。住友はゆつくりとしたペースから21分3-4とつめ期待をもたせたのだが25分、26分に速攻を許し傷口をまたあけてしまった。後半、大崎は2分、5分の7MTをソツなく決め8-4。住化にこの2本の7MTはこたえようだった

あとは互いに散発的に得点しあっただけで盛りあがりのないままタイムアップ。住化は、スピードでの勝負をさけ、遅い運びに大崎を誘ったもの

の肝心の攻撃が大崎の固い守りを突き切れなかった。(杉山)

常盤工業 26 (13-7) 12 住友化学 得0 0 0 0 1 6 1 1 1 0 3 0 【住】原行代 藤嶺 藤石 剛 山海野 【季】成神 伊長 加白 金北 落平

大崎電気	19	6	1	7	14	三景
得0	0	4	1	4	3	2
【三】	西	竹	尾	高	内	山
GK						
	FP	審	赤	松	野	
大崎	電	気	19	6	1	7
【景】	牧	村	形	梨	藤	原
GK						
	FP	審	赤	松	野	

19 (2) 7MT (1) 14

○……今大会好調の三景に、打倒・大崎の期待がかけられたがさすがに大崎は選手層が厚い。主力6人を世界選手権を送っていながら、まったく危気のない試合ぶりをみせた。

序盤こそ三景の追撃を許し、11分まで5-4とせりあったが、そのあと長身・平岡の豪快なジャンプショット、ベテラン西村、井上の巧技で徐々に点差を開いた。

三景も尾形を中心に攻めこむが大崎の守りは厚くシュートチャンスをつかんでもGK福本の堅守を突き破れなかった。

○……前半で13-7。味気のない「決勝」に終わるところだったが、ハーフタイム後大崎の攻撃が雑に流れたスキを三景はよくついて15分には11-13。大崎は15分10秒の7MT(西村)が後半初ゴールという低調。しかし、体勢を建てなおすと再びスピードをみせつけて三景をねじふせた。三景の緊張に比べ、大崎は終始余裕が感じられた。(杉山)

大崎電気	26	1	15	常盤工業	
得0	2	3	1	5	
【三】	景	23	1	5	
GK					
	FP	審	丸	岡	
大崎	電	気	26	1	15
【進】	藤	本	山	口	島
GK					
	FP	審	丸	岡	村

17 (2) 7MT (2) 15

【決勝リーグ順位】①大崎電気3戦全勝②三景2勝1敗③常盤工業1勝2敗④住友化学菊本3敗

5位に日進商会  
▽5位決定リーグ  
日進商会 25 (12-3) 12 日本鋼管 京浜

得0 0 0 4 0 0 2 4 1 1 0 鋼本原 林 裏沢 井田 西内

日進商会	17	8	10	15	富士製鉄
得0	6	5	5	2	3
【日】	進	藤	本	山	口
GK					
	FP	審	丸	岡	村
日進	商	会	17	8	10
【日】	佐	米	正	大	出
GK					
	FP	審	丸	岡	村

25 (0) 7MT (3) 12

【順位】⑤日進商会3勝 ⑥富士製鉄名古屋2勝1敗 ⑦日本鋼管京浜1勝2敗 (注)不参加の千代田印刷機製造は8位扱い。

【新製鋼】日新製鋼 25 (8-17) 18 呉(広島) 25 (10-18) 18 日本鋼管 25 (13-12) 24 福山(広島) 21 (11-10) 19 安田生命 (東京) 21 (11-11) 19 神戸製鋼 (兵庫)

# 2部 システム一応の成果

男子トーナメント(日本協会杯)

▽1回戦  
日本発条 15 (6-1-6) 13 大山商会 (神奈川)



宗形製作	15	(7 8   5 7)	12	三菱レイ
所(大阪)				ヨシ大竹
業(愛知)	19	(10 9   10 8)	18	静岡日野
田(次城)	24	(12 12   13 7)	20	丸善石油
				歌山(和)

名古屋屋市体育館

大阪ガス	24	(10 14   18 14)	22	北陸電力
(大阪)				(福井)
セントラ	25	(16 9   10 7)	17	京都信用
ル自動車				(京都)
(神奈川)	30	(22 8   5 2)	7	小松製作
三菱油化				所(石川)
(三重)	20	(10 10   7 9)	16	出光興産
本田技研				徳山(山口)
(三重)	20	(10 10   13 5)	18	自衛隊宇
川崎重工				都宮(栃木)
(兵庫)	22	(15 7   10 6)	16	境港市役
富士レジ				所(鳥取)
ン(兵庫)	28	(14 14   10 11)	21	トヨタ車
大成プレ				体(愛知)
ハブ(東)	24	(12 12   8 5)	13	塚本商事
金沢市役				(東京)
所(石川)	24	(12 12   8 5)	13	大同製鋼
(愛知)				不戦勝
				大阪機工
				(兵庫)

愛知県体育館

○……各チームの実力接近はめざましいものがあった。15試合のうち前半に2点以上差が開いたのは6試合しかない。2部制を布いた狙いは初日から成功という印象を強めた。

日本鋼管福山辛くも勝つ

名古屋屋市体育館会場では日本鋼管福山×日本碍子、宗形×三菱レの2試合が面白かった。鋼管福山は後半15分17-20とリードされたが粘り、27分11度目の同点(22-22)。しかし碍子は22分餅原のゲットで24-23とし乱戦にケリをつけたかに見えた。ところが鋼管は残り1分西田が同点のゴールを決め、30秒後松村がペテランらしい巧技で逆転シュートを放ち、碍子を打棄った。

▽2回戦	35	(21 14   14 6)	20	日本発条
日新製鋼				
呉	25	(12 13   12 11)	23	安田生命
日本鋼管				
福山	34	(20 14   12 7)	19	大阪ガス
自衛隊勝				
田	29	(15 14   5 4)	9	タヨシ産
宗形製作				業
所	23	(14 9   11 13)	13	三菱油化
セントラ				
ル自動車	21	(14 7   7 4)	11	川崎重工
本田技研				
鈴鹿	23	(10 13   10 11)	21	大成プレ
富士レジ				
ン	31	(16 15   7 6)	13	金沢市役
大同製鋼				所

宗形×三菱レは1回戦屈指の好カードにふさわしく予断を許さぬ接戦となったが、宗形は後半7分8-8から村上、北田の連続好プレーで点差を開き、25分いちはどは1点差につめられたものの逃げ切った。

好試合を期待された富士×大成は、小林、狩山らまとまりの富士が大成の個人技を制した。ともにスピードプレーが少なく点差の割に緊迫感が乏しかった。

○……愛知県体育館会場では優勝候補・本田技研に食いついた出光の健斗が目玉された。先手はたえず本田がとっていたが、出光も福島の好技を中心に得点、勝負を後半にもちこんだ。試合運びの巧い本田は後半開始と同時に一気にスパート、10分15-9と開いた。出光は終盤追いこんで23分には15-17としたのだが、あまりにも後半のスタートでの失点が大きくそれ以上はつめ寄せられなかった。

鋼管福山×安田生命は、安田が宮永、堀切に巧くボールを集めて善戦した。鋼管は後半2分15-11と4点差をつけて余裕をもったが安田もよく食い下り26分には斎藤のゲットで23-22と逆転した。

大阪ガス×北陸電力は後半25分22-22ともつれたあと大阪ガスが田屋、恵美の連続ゲットで辛勝。

しかし鋼管はこのあと西田の連続得点で再び優位に立ち、29分藤島が止めを刺して辛くも勝った。セントラル×三菱油化は、前半リードの三菱が、後半はまったく攻撃に鋭さを欠いて21分間無得点

という低調からセントラルの反撃を許し自滅した。セントラルの成長が目についた。

本田技研、自衛隊勝田、宗形製作所、大同製鋼ら優勝候補は楽勝。日新は乱戦の末、日本発条をつきはなした。

宗形、自衛隊勝田を降す  
日新 本田は苦戦の末進出  
▽準々決勝

日新製鋼 22 (14 8 | 15 5) 20 日本鋼管  
呉 同型チームだったが日新は鋼管の凡ミス速攻に結びつけ徐々に点差を開いた。後半は一進一退となったが、日新は前半の優位で余裕があり鋼管を突きはなした(丸岡)

宗形製作 12 (6 6 | 5 11) 自衛隊勝  
所 GKの好技をささえに有力チーム同士らしい接戦となったが、宗形は6-6から後半15分までに4点を奪って主導権を握り、押野を中心に粘る勝田を振り切った。互いに小さなミスが多かったが宗形の巧い試合運びが若さのぞく勝田を制した。(杉山)

本田技研 18 (10 8 | 9 17) セントラル  
鈴鹿 ともにポストプレーから得点しあい、勝負は最後10分にかかった。本田は後半23分15-14から大下(7MT)、三浦のゲットで優位に立ち、セントラル必死の反撃を辛くもかわしたセントラルの善戦

が賞されよう。(岡本)

大同製鋼 27 (13 14 | 9 16) 富士レジ  
前半、大同の速攻に富士はつききれず意外の大差となった。後半になっても大同はペースを落とすことなく井上、西村、伊藤の左腕トリオとペテラン・戸谷の活躍で快勝した。(西川)

本田 宗形で決勝  
日新と大同製鋼は敗退  
▽準決勝

本田技研 19 (9 10 | 5 13) 大同製鋼  
得0 1 1 4 7 0 0 0 0  
同川 浦上村谷本藤田

【柳】松井西戸山伊吉  
GK 審 門前 大橋  
F P

本南藤 加三星末大岩松  
得0 0 3 2 6 3 2 3  
田】男浦野岡下本岡

○……立ちあがり本田技研は小さく速い動きを見せて大同ディフェンスをゆさぶり6分4-0とリードした。大同もそのあと立ち直り戸谷の好技で15分には5-4と逆転、面白いスタートとなった。しかし、ムラのない攻撃力を持つ本田は15分以後再び巧みなコンビネーションプレーから末岡の連続ゲットなどで優位に立ち、後半もスピードいなチームプレーで疲れの見える大同を押しまくった。(岡村久)

宗形製作 23 (149) 14 日新製鋼  
得0 016232

【新】谷上茂岡木川  
【田】沖吹下正松村

GK (審丸岡本)

【形】山上林田川原野  
【宗】青村中黒吉北桑佐  
【渡】571244000

○……日新は好スタートを切り5分3-0、10分5-2と優位に立

った。しかしベテランを揃えた宗形はあわてることなく、要所で得た7MTを巧く活かしながら逆に試合のペースを握り20分には8-5とリード。日新もよく粘り、21分以後再び攻撃が好テンポとなって10-8と逆転したのだが主導権を奪うまでにはいたらなかった。

失31 38 39 51 64 100  
得75 69 51 59 38 31  
勝4 4 4 2 1 0  
敗1 1 1 3 4 5

失34 54 62 63 63  
得59 61 61 36 36  
勝3 2 1 0  
敗0 1 2 3

失35 42 62 63 63  
得59 61 61 36 36  
勝3 2 1 0  
敗0 1 2 3

失35 42 62 63 63  
得59 61 61 36 36  
勝3 2 1 0  
敗0 1 2 3

失35 42 62 63 63  
得59 61 61 36 36  
勝3 2 1 0  
敗0 1 2 3

反撃のチャンスを持った宗形は後半開始直後村上のゲットで同点に追いつき、そのあとはガツツリ先手をとって、8分13-12、20分17-14と点差を開き、そのあとなおも6点を加えて快勝。巧さが若さを押しきった試合だ。(杉山)

▽決勝 宗形製作 18 (9-5) 13 本田技研  
所加藤 0 2 2 2 3 1 3  
得0 0 2 2 2 3 1 3  
【田】玉浦野岡下本岡  
【本】加藤 三星末大岩松

GK (審西川河野)

【形】山上村田川田  
【宗】青村中黒吉北  
【渡】272133

○……ともにディフェンスにもうひとつ粘りがなく激しい得点の入れあいとなった。

# 田村紡、大洋に気力の一矢

## 女子リーグ

▽第1日 大洋デパート(熊) 28 (1315) 2 3 大洋紡  
本(埼玉) 15 (114) 6 10 東京重機

大洋デパート(熊) 28 (1315) 2 3 大洋紡  
本(埼玉) 15 (114) 6 10 東京重機

しかし前半15分をすぎるあたりから宗形のスピード的な突進が本田の帰陣を上廻り、エース・村上が小気味のよいジャンプシュートをピンピン決めて序々に点差を開いた。

後半本田は天下の好リードからベテラン松岡、未岡らが鋭い動きで得点、21分には12-13と迫り試合を大いに盛りあげたが身長差を優る宗形はこ22分黒田のゴールで余祐をとりもどし、26分吉川(7MT)、27分村上で優勝を不動のものとした。

チームプレーでは本田が上とみられたが、個人の突進力を結集させた宗形がベテラン揃いらしい勝ちかたをみせた。

本田は、前半しばしば絶対好機をシュートの失敗で逃したのがたたり、GK南の負傷欠場も大きくひびいていたようだ。(杉山)

▽第2日 東京重機 15 (8-7) 9 工業  
田村紡 16 (6-5) 8 大洋紡  
大洋デパート 14 (8-3) 7 大崎電気

○……大洋デパート四冠王の第一関門とみられた対大崎だったが、大洋の気力にあふれた攻撃は相手にほとんどつけいるスキを与えなかった。

序盤は互角の戦況で進んだが15分を過ぎてから大洋はポストプレイ、ロング攻撃を使い分けて大崎のゴールを割り23分には6点差となった。

守ってもGK小原が定評どおりの好守をみせ、しかも攻撃陣へ好パスを送って勝利へ導いた。

▽第3日

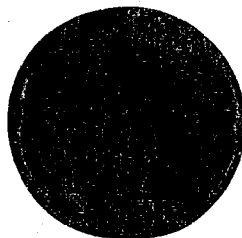
# ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球

# ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696  
TEL(941) 2635・6592





# 4冠王飾った大洋デパート

—史上3度目の栄光—



□……大洋デパート(写真)にしてみればやはり「四冠王」は全勝で飾りたかったに違いない。

田村紡ベンチが優勝したかのような大喜びをしているのに引きかえ、ガツクリとうなだれた選手の方姿には疲れさえ感じられた。

□……その暗さも表彰式で次から次へと賞状カッパを渡される頃にはすっかり陽気さをとりもどした。

大洋デパートは、昨年くれの全日本選抜でも、大崎電気に土をつけられており得点率での優勝となっている。

しかし、この群雄割拠の時代に4大タイトルを独占するのは大変なことだ。ましてや大洋デパートの場合は、前年度も出場したすべ

ての全国大会(全日本選抜を除く三大会)に優勝を記録しているのである。偉業だ。

□……井薫監督(中大出)は『今シーズンは4大タイトルを独占ということを意識して練習にはげんで来たのですから、その目標を達せてみんなに嬉しいことはありません。全日本選抜と全本実業団で全勝できなかったの

は残念ですが勝負強さというものにまだ欠ける面があるからでしょう。4大会のうち、最も好調だったのは長崎国体で、この時のような攻守をいっつも発揮できるような努力をして来シーズンも四冠王に挑戦します」といっている

□……四冠王には先輩がある。昭和36年度の愛知紡(廃部)と42年度の田村紡だ。

関係者やファンの間には、この三者の強さくらべが大きな話題になっている。双葉山と大鷲のどちらが強いかという論議にも似ているが、「最強」を求めるファン心理というものは別表のようなものになる。

	総合	国体	選抜	実業団
愛知紡(36年)	3勝(得38, 失10)	3勝(25, 10)	4勝(49, 21)	2勝(41, 6)
田村紡(42年)	5勝(77, 24)	3勝(34, 15)	4勝(32, 21)	4勝(44, 27)
大洋デ(44年)	5勝(69, 21)	3勝(46, 16)	2勝1敗(26, 21)	4勝1敗(75, 31)

パート……。

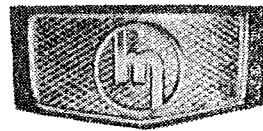
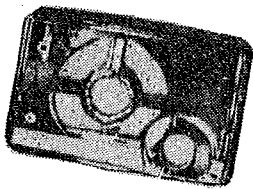
村田選手強化対策委員長は三チームをこなすふうにならぶに表現してくれた。

「技力の強さで愛知紡速さと巧さで田村紡、鋭さで大洋デ

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……

……ありません!



精密金型設計・製作  
マイクロプラスチック成型  
プラスチックメッキ

## 株式会社 宗形製作所

本社 大阪府高槻市建子241番地 TEL 高槻(0726)75-5551  
東北本社 福島県福島市清水町字中谷地48番地 TEL 福島(02452)3-2812・2911  
宗形工業化学株式会社 大阪府高槻市建子252番地の1 TEL 高槻(0726)75-5767-8  
京都金型製作株式会社 京都市南区上鳥羽花名町19番地 TEL 京都(075)68-9701



・特集・

## 1969年度を顧みて

### 多彩だった競技面の話題

日本協会

………杉山

茂

卒直にあって、日本協会のこの一年間は反省の一年であった。

田村会長自らの陣頭指揮により年度後半になって、協会活動はかなり盛り返されたというものの、もし競技面で後述のような活気のある動きがなかったなら、今年度の日本ハンドボール界はまったく「消沈の一年」に終わったであろう。

上半期に布いた合議運営は必しも失敗ではなかったが実働力に欠

けたため半年で理事長制が復活した。

特に6月欧州遠征した全日本選手を所属チームに帰さぬという強硬策は、本部の意志が地方によく理解されずかえって不信をかい、しかも8月の全日本総合直前になって解禁したのは混乱に拍車をかけることになった。

当時の合議スタッフ全員が会長に進退を一任したのも当然のことであり、それが10月からの新体制

スタートにつながった。

機構・人事面での手直しばかりに日時を費したため、肝心の協会運営に何ひとつ「前進」がなかったとえば懸案の全日本選手権検討も次年度に持ちこされたし新規事業の立案もなかった。

誠に遺憾なことではあるが今年度で得た反省を活かして来年度以降活潑な施策を展開することを誓いたい。

運営面の低迷に引きかえ、競技面では全日本男子が史上初の欧州における強化合宿を実現したことをはじめ女子大洋デパート(熊本)の4大タイトル独占、高校界における下関中央工(山口)、新居浜



(写真) 4大タイトル最初の栄冠。大洋デパートの全日本総合(8月・岩手)における試合ぶり(光島磯雄氏撮影)

市商(愛媛)の抜群の攻守、日韓高校の東京開催、日体大(東京)の韓国遠征、山田計氏(常務理事)のIHF国際審判員講習会出席、全日本選抜の精鋭化など実に話題が多かった。特にミュンヘンオリンピックをめぐらず全日本男子の頂

### 活況の反面、転換機迎える

全日本学連

………奥川正春

学生生活、大学スポーツそのものが大きくゆれ動くなかで学生ハンドボール界のこの一年間はともかくも順調な歩みを遂げたといっ

てよいだろう。

競技面において

は日体大が全日本学生、関東学生春秋の三タイトルを一人じめにして文字どおり学生界最高峰の座をゆるぎないものにした

ほか、東西対抗における西軍の快勝(5年ぶり)、東京女体大の全日本学生初優勝と日体大女子の連勝ストップなどが話題となり、また世界選手権代表に現役から4人を送りこみ、

点強化はかってない充実で、通算10回にわたる強化合宿や同チーム国内サーキット、さらには世界選手権代表の厳選など注目を集めた。(日本協会常務理事)

【カット写真は7月キールにおける日本対西独戦から】

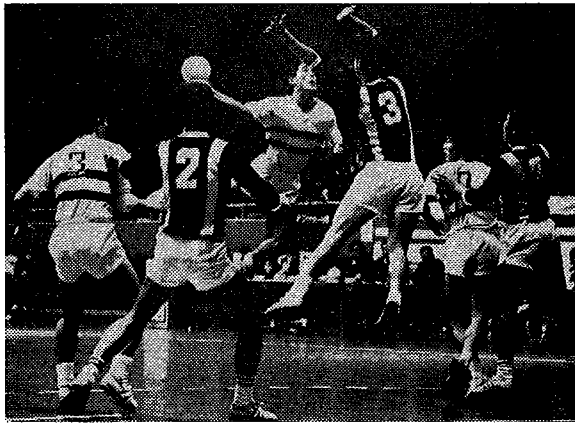
日体大が二度目の韓国遠征を行ったことも特筆されよう。

こうした例年にない活況の反面、学生ハンドボール界が一つの転機に立たされていることも否めない。

加盟校の増加から、そのリーグ運営に抜本的検討を迫られる連盟が東西を問わず多くなっているが、各校の部員数はむしろ低減しているという現象は、やがては学生界(学連)に深刻な問題を投げかけるのではなからうか。

部員数の減少からチームの存続がやっとなという部が多いような状態では、強化(レベルアップ)など望むべくもない。

選手層の厚い学校とそうでない学校との隔差は今後広がる一方である。それが学生界そのものの低迷につながりはないか。今シーズンの活況を決して手ばなしでは喜べないのである。



(写真) 今日シーズン学生界の全タイトルを掌中にした日体大の豪快な試合ぶり=全日本学生決勝(光島氏撮影)

さらに、学連活動そのものも概約の大巾改正に見られるように前年の事業を引きつぐだけ、というイージーな行きかたも許されなくなつて来ていると思う。それだけ学連が成長したことを自負してもよいのだ。

## 特筆される下関中央工の二冠

### 全国高体連

……… 嶋田 新太郎

同様のことは、各学連のリーグ戦の運営面にも云える。種々の面で日本のトップレベルを自負し外見は一見華やかな学生界ではあるが、その運営面での実状は淋しい。各地のリーグ戦で実際の運営にあたっては、一部の理事と委員である。これらの人が一人三役も四役も引き受け、やっと大会が成立しているのが現状である。

高体連としては、なんといつても昭和四十四年は創設二十年を迎えた記念すべき年であった。第二十回全日本高等学校ハンドボール選手権大会が群馬県富岡市で開催された時、記念式典・祝賀会、記念展示会を計画し、富岡高校体育館で参加チーム代表監督、選手並に来賓多数を迎えて記念式典を挙行、これまでの発展に尽力された都道府県の方々の表彰や感謝状の贈呈を行って敬意を表した。

る。各チームの監督が審判をやるといったことは避けなければならぬのだが、現状では望めない。

OBの建設的な協力を望みたいものだ。(全日本学連委員長・早大4年)

また。二十回大会も全国より最高の男女百二チームの参加を得て、新旧いり交つての大熱戦が展開された。男子では、前年度優勝の下関中央工業高校(山口)に対し、矢張り前年準優勝の中大附属高校(東京)の決戦となり、下関中央工業高校の二連覇となった。

中央工業高校が引分けるという成績で終った。

男子では、前年準優勝であった新居浜市立女子商高(愛媛)と栃木女子高校の争いになり、結局新居浜市立女子商高の初優勝がなり優勝旗が初めて瀬戸内海を渡ったのである。その間男子の部では、地元富岡高校、桐生工業高校の健闘目覚しく強豪を倒して準決勝に進出、地元二チームが揃って三位置を獲得したことは立派であった。

昨年、下関中央工業高校が韓国に於いて一勝一分五分の成績はいたらない。日本としても、これからの国際試合を前に原動力となる高校チームの実力向上に反省を加えると同時に今後の精進が望まれる。

(写真) 実力伯仲の高校界で2年連続優勝した下関中央工の力は高く評価されてよい



又、全国登録チームに対しては、記念誌・記念タオルを貼布し、いさかなりともこの二十周年に対する御協力を願ひし、なんとか記念行事を滞りなくできたことに對し厚く誌上をかりて感謝申上げる次第であり

女子では、前年準優勝であった新居浜市立女子商高(愛媛)と栃木女子高校の争いになり、結局新居浜市立女子商高の初優勝がなり優勝旗が初めて瀬戸内海を渡ったのである。その間男子の部では、地元富岡高校、桐生工業高校の健闘目覚しく強豪を倒して準決勝に進出、地元二チームが揃って三位置を獲得したことは立派であった。

男子では下関中央工業高校が初優勝、女子では新居浜市立女子商高がインターハイに続いて優勝した。国体出場チームの単独、混成チームの善悪は別として、混成にする場合のチームワークのとり方にも色々問題があるし、今後どのような方法で各県が取組んでいくか一つの焦点とならう。

ため御尽力いただきましたが、御都合によりおやめになりたいというところで、部としては来年の役員改選までどうするかで審議した結果、二十年來副部長として事実上高体連ハンドボール部のため粉骨細心努力してこられた徳永陸繁先生を部長におすこととして定例委員会の承認をうけた。徳永先生の人間性はすでに御承知の通り、一途にハンドボールを愛し、このことのみで専念してこられただけに意義のある適当なお人かと思ひ、過去二十年の歴史に加うるに今後の発展を期し昭和四十四年度の反省といいたします。

(全国高体連副部長)

# 持ちこした新しい企画

全日本実連

田中 滋章

まづ第10回記念全日本実業団ハンドボール選手権大会が無事盛大に終了したことをご報告し、関係各位のご協力に深く感謝いたします。

全日本実業団選手権が10年目を迎え、全日本実連或いは各実業団チームが一つの過渡期にさしかかった昭和44年度に私が理事長を引受け、すべきことが多々あったに



(写真) 全日本教職員に初出場で優勝した東京教員ク

もかかわらず結論的には結果の良否は別にして記念大会にリーグ戦を採用したことがうらやまであった。しかし下位の協会杯トーナメントが高松宮杯に結びつかない欠点はあったにしても、上位8チームの激突は各チームの強化に結びつき、又好ゲームを観戦できたことからいっても収獲が多く全般に好評であった。

その他本年度から若手の働らせる理事に総入替し実連の運営一切を私ほかの若手ですることにより従来までとは異なった新しいアイデアも生まれたが、実行するまでに至っておらず次年度に持越ししてしまった。私が名古屋で、連盟及び常務理事が東京というギャップが実行を阻害していたので45年度からはそういうことのないようにしたいと思っている。

このところ経済界は好調をつづける資源にも不足している折りから仕事に忙がしさに追われチームの増加、大会への参加が著しく制限され、そこに三菱鉛筆の廃部の問題、千代田印刷機製造などの大会棄権の問題が生じてきている。これはたゞ単に日本協会の懲罰規定うんぬんということより実業団チームがすべて抱えている問題であり、今後いかに解決していくか、又実業団チームはいかにあるべきかということを手ハンドボールだけにかぎらず他の競技団体ともどう考えてゆかねばならないことだと

## 意義深い結成1年目

全日本教職連

渋谷 行康

一昨年十二月、教職員ティーム待望の設立準備委員会を全国各ブロックの代表に御参集願ひ、静岡県協会の御骨おりで清水市で開催規約などの立案検討をなし、翌年一月、東京に各ブロック準備委員会に再び参集願ひ最終決定のあと日本協会に登録手続きをし認定され昭和44年4月1日から全日本教職員ハンドボール連盟として発足した。

役員は、理事長、副理事長、常務理事、各ブロック担当理事、事務局長を選任し委嘱した。そして初代理事長に山田計氏を迎え運営を開始した。

この原稿が載るころにはすでに世界男子7人制選手権の結果が分っていることであろうが、ナショナルチームに多数選手を送り出している実連としては、今後も日本協会と手をつなぎ、ミュンヘンオリンピックを目指して出来るかぎりの協力をしていく所存ですし、又してゆかねばならないと思っております。この一年色々とお世話になり感謝申し上げます。今後共にご指導ご鞭撻の程をお願い致します。(全日本実業団連盟理事長)

本連盟は各教育機関の指導者層から構成されるので、その事業内容も選手権大会の開催もさることながら、指導者講習会の開催による底辺の拡充への協力、スポーツを科学する研究ならびに発表、ハンドボール選手の技術・体力等の向上に資する方法や資料の調査統計など巾ひろく連盟下の指導者が研さん出来るように方向づけをしている。その中で年間最低一回講習会の開催や、選手権大会期間中における研修会の開催など考えを進めて来た。

この期間中、別掲のごとき講習会が開かれた。(本誌18〜23頁参照)

昨年十二月には静岡県で全国理事会を28名の出席を得て開催したこの折は、日本協会荒川理事長にも出席願ひ現況について話していただいた。

議事内容は別掲の通り(本誌27頁参照)

今後は前述のごとく、教員公務員層の連盟として、その品位と指導性を発揮し、たえまなく底辺の拡充につとめるとともに、種々研究調査を重ねてハンドボール技術に科学的要素を多々採り入れ、近代化した連盟として運営を進めたい。とにかく、本連盟の発足は一年目とはいえ非常に結果が固く、大会時にも見られたように和やかな雰囲気の中で交流や、地方間における意見交換などが活発になされた。誠に意義深いものがあった。(全日本教職員連盟常任理事)

**フジカラー**  
サービス

カラー写真ならもっときれい！



現像とカラープリントはお近くのカメラ店で  
〈フジカラーサービス〉とご指定ください

**フジカラーの純正現像**

フジカラー N100  
フジカラー R100  
フジカラーシネ 8mm・16mm  
トーカー映画(磁性体塗布加工)  
フジマグネオストライプ  
小型映画フィルムの複製  
フジシネコピー

**美しいカラープリント**

フジネガカラープリント  
フジポジカラープリント  
フジダイカラープリント  
フジ G カラープリント  
フジネガカラーズライド  
フジポジカラーズライド

**フジカラーの総合現像所**

**株式会社 フジカラーサービス**

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡



# 昭和四十五年度 競技規則改正について

審判部長 安藤純光

日本のハンドボール技術も世界のトップレベルに是が非でも到達しなければならぬときを迎えた。ミュンヘンを目指しての第一の関門である第七回世界選手権大会の開幕も間近にせまっている。日本選手団の健斗を期待したいものである。

この技術にもっとも影響を与えるものは、競技規則とその規則の施行を見守るレフェリーの審判技術であることは、ことあらためて言うまでもないことである。国際連盟技術委員会においても絶えず技術に対する規則を研究し、また規則に対する技術を探究しつづけてますます高度な技術が生まれようとしている。

昭和四十五年度の競技規則の改正および修正は、昨年七月にマドリッドで開催された国際審判会議の決定を基礎にしたものである。会議において結論づけられたものの中には、すでに日本で実施されているものもあるが、新しい規定もいくつか出ている。とくに四十四年より国際規則となった複審制については「複審制に関する留意事項」という「複審制に関する

規範」とほとんど同内容のものを再び提示しているところをみると国内におけると同様にまだまだ問題があることを推測できる。

以下に今回の改正点および修正点を若干の説明とともに述べる。

1の1(注)で競技場の大きさを「40m×20mが標準である」とした。大会時の雨のときの室内競技場の大きさについて論議が行なわれたが文章化するに至らなかった。

3の2(原注)(1)レフェリーは負傷者が重傷であると判断したらただちに競技を中断させる。

(2)レフェリーは負傷者がでたらすぐ医者かチームの責任者を呼ぶ。その前には誰も競技場に入れない。

(3)レフェリーは負傷したプレイヤーをみて軽度であると判断したときはそのときの一連のプレイが終るのをまち中断させる。

(4)レフェリーは負傷者が「お芝居」をしたと判断したときは、反スポーツマン的態度として罰する(警告、退場)。

※競技中のプレイヤーの負傷があった場合の処置についての規定

である。さして問題となる点はないように考えられるが、技術が進歩し、ますますスピード化することにもなつて、プレイヤーの傷害の問題も多くなることが予想される。レフェリーは競技における傷害問題をできるだけ避け、予防することに意をそそぐべきであるが、傷害に対する判断力をもつことが必要である。

3の7(注)………全日本大会に参加する場合は必ずしも着と区別できるユニフォームを2着用しなければならない。

(番号の例)15名大会申込みできる場合には、 $\epsilon_1$ から順に $\epsilon_{15}$ までの番号をつける。 $\epsilon_1$ と $\epsilon_{12}$ はゴールキーパーであるが3人目は4人目のゴールキーパーは $\epsilon_{13}$ 以後にする。

(ユニフォームの例)色の全く違うもの、濃淡のはっきりしているものなど。

※従来から実施されていたのであるが、徹底を欠いているので文章化したのである。

4の8(注)最後の一投とは、7mスロー、フリースローであつてコーナースローは含まない。

※コーナースローもフリースロー、7mスローと同様に直接得点することができ、フリースロー、7mスローは相手の反則によつて生ずるスローである。コーナースローは反則ではなくボールが

ゴールラインから出たことによつて生ずるスローである。したがつて最後の一投の対象にはならぬ。

4の10(注)その大会の申し合せによつて延長戦、または再競技を行なわず引き分けにすることができる。勝敗を決定しなければならぬときは第1延長戦のあとと抽せん、または第2延長戦のあとと抽せんによつて決定することができる。

6の8(注)相手に対して脚をあげて防禦してはならない。

※防禦のために脚をあげる動作がときおり見られるが、脚をあげることは相手に危害を与える原因になるので、危害予防から禁じられる。

7の3(原注)競技の運行に影響をおよぼさないゴールエリア内のプレイヤーは「死んだ」ものとしてあつかわれる。

7の3(注)ゴールエリアの上へ跳んで味方にパスをし、ゴールエリア内に落ちた際の「悪い動作」は次のような場合をいう。

①ゴールポストの中(正面)で行なつた場合。

②サイドでパスをしたプレイヤーがゴールキーパーの前を横切る。

③パスしたプレイヤーが中央の方向へ出て来てはいけない。

④パスしたプレイヤーが次の動

作でゴールキーパーに少しでも近づいてはいけない。

⑤パスする前に身体の一部がエリア内の地面(床)についてはいけない。

⑥ゴールのうしろをまわつて反対側へ行つてはいけない。

※この項は今回の改正の中で、もっとも注目されるところであり技術的にも変化をもたらずでありうと考えられる。この改正によつて条文にあるように「プレイヤーがボールを投げた後に、ゴールエリア内にふみ入った場合には、それが相手方に何の不利も与えない場合」に限り、罰則が与えられない。という文章の通りになつたわけである。つまりこの条文にはシュートの際だけという制約はないのである。

しかしこのプレイには(注)にあるような制約がある。ここで問題になるのは、①のこのプレイの許される範囲(位置)である。これについては規則研究委員会、審判部合同会議において長時間にわたつて論議を重ねた。どこまでの範囲とはっきり区別のできる性質のものではないし、また競技場にマークすることもできないが、ゴールラインから3m(両サイド)をめやすにするという結論を得た。根本にある考え方は、条文にある「相手方に何の不利も与えない場合」(原注)にある「競技

の運行に影響をおよぼさない」という点があるので、この点を強調してこのような位置と、(注)にふれないプレイの場合には反則ではないと判断することになった。この項は、プレイヤーにとってもレフエリーにとっても今年度の大きな課題になるであろうと思われる。審判部としてもさらに研究すべき項である。

10の2 (注) 室内の場合、競技場の上の施設にボールがふれたときは次のように判定する。

(1) サイドライン外に落ちたときは最後にふれた反対側のスロイー(落ちた位置)。

(2) フィールドに落ちたときはレフエリースロー(落ちた位置)。

(3) ゴールエリア内に落ちたときはゴールスロー。

(4) ゴールラインのうしろに落ちたときは最後にふれた反対側のスロー(ゴールスローかコーナースロー)。

12の1 (原注) キーパーボールのスローとゴールスローに対して、ゴールエリア内で防害したときは次のように罰せられる。

(1) キーパーボールのスローを妨害したときはただちに注意を与えて「退場」させる(反スポーツマン的態度)。

(2) ゴールスローの妨害をしたときはまず「警告」を与えて2度目のときは「退場」させる。

※このようなプレイはときどき見られるが、それに対する処置が明確にされた。キーパーボールの場合には直接得点することもできるので、ゴールスローの場合のあつかいと相異があるわけである。

12の2 (注) ゴールキーパーがボールを持ってゴールエリアに入り、さらにゴールエリアを出て(フィールド)ゴールスローを出た場合、ボールを持ってゴールエリアを出たことになる。8の4により相手側のフリースロー。

※ゴールスローの場合にキーパーがボールを持って一度ゴールエリアに入った(ゴールスローができる)にもかかわらず、ゴールエリアを横ぎってボールを持ったままフィールドに出た場合のことで、ゴールスローのやりなおしではなく、ボールを持って出たと判定する。

13の2 (原注) (1) フリースローの際、3mの距離は厳重に守らなければならない。

(2) フリースローなど罰則のスローの際、ボールを持った者が正しい位置につき、笛の鳴ったあとではドリブルしてはいけない(警告フリースロー)。

13の2 (注) フリースローの際ボールを持って正しい位置についたならば、ボールをドリブルしたり、下に置いたりしてはならない(警告)。

※ボールを持ってポイントに立っていないがボールをドリブルしたり、下に置いたりする動作をすることがあるが、正しい動作ではないので笛が鳴るフリースロー、笛が鳴らないフリースローにかかわらず「警告」を与える。

14の4 (注) レフエリーはプレイヤーが正しい位置にいることを確認してスローを行なわせる。

※7mスローの項であるが、プレイヤーが不正な位置にいるときは、レフエリーは位置を正してからスローを行なわせる。にもかかわらず不正な位置にいた場合は反則である。

16の7 (注) 防禦側の不正配置を正すのに時間がかからぬよう早く、適切な処置をしなければならぬ。たとえば防禦側が3m以内からなかなか離れないときは、レフエリーはすぐボールを持って正しい位置につかせてからボールを渡し、笛でフリースローを行なわせる。繰り返して不正な配置を行なうときは「警告」を与える。

※13の2 (原注) (1) とあわせて常に問題になるところである。この処置が手ぎわよく、適切に、すみやかに行なわれなければならない。

17の1 (注) レフエリーが傷病の場合は、かわりのレフエリーが交代して行なう。

17の6 (原注) ボールを放り出

したり、持って行ったり、あるいはそれに類似した行為は反スポーツマン的態度として「警告」「退場」「追放」することによって罰せられる。

17の13 (原注) 自信をもって笛を吹き反則の状況によって強弱、長短をつけるようにする。たとえば7mスローになるような重大な反則が行なわれたときは強く長く吹く。

※笛の強さ、長さで判定がわかるような笛の吹き方が望ましい。「複審制に関する留意事項」は先にも述べたように規範と重複している点が多いので省略するが、V特別な指す

(1) 原則的にはスローの行なわれる後方に位置しているレフエリーが笛を吹く。

(2) 7mスロー、コーナースローの場合だけ例外で常にゴールレフエリーが笛を吹く。

この項だけつけ加えておく。

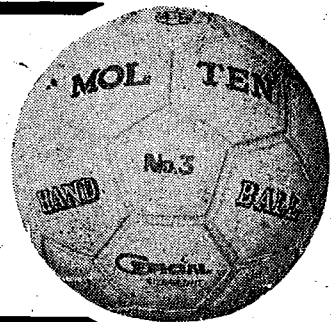
▲昭和四十五年度版競技規則書はすでに各位のお手もとに渡っていることと存じますが、講習会に間に合わせるためにいそぎましたので校正の不充分さもあり随処にミスがあり、各位に大変御迷惑をおかけしていることと存じます。正誤表を印刷中でありますので、でき次第各都道府県協会へお送り致します。誌上を借りて深くおわび申しあげます。

日本ハンドボール協会検定球

# モルテン

亀甲型 ハンドボール

モルテン工業株式会社  
広島・東京・大阪



# ハンドボール研修会の報告

渡 辺 慶 寿  
北 川 勇 喜

昭和四十四年、八月十四日、埼玉県浦和市立高校において、ハンドボール研修会を開催し、多大の成果を収めたので、ここに、その概要を報告します。

この研修会は、現在理事長である、荒川清美氏の、前々からの念願であり、その意志を継いで、東京在住のハンドボール愛好者が、教職員大会の独自性を打ち出すべく企画し、実行したものであります。この成果が認められ来年度より、教職員大会の行事の一環として継続実施することが決定されたことは、我々準備委員として、大きな喜びとするところであります。

## 研修会内容

一、挨拶 荒川清美

一、講演 ①トレーニング概論 広田公一

②現代スポーツ論 神田順治

一、遠征報告

①ナショナルチーム・ヨーロッパ遠征 村田 弘

②韓国遠征 荒川清美

③国際ハンドボール審判会議 山田 計

## 山田 計

一、研究資料説明 渡辺慶寿

一、協会長挨拶 田村正衛

まず、冒頭の挨拶で、荒川理事長は、「東京オリンピックを契機に、各競技団体の進歩は目ざましいものがあるが、このことは、スポーツ及び技術を、単に、経験主義的に考えることから、科学的な理論と実際というものを、常に、両者一体化をねらって努力している結果である。しかるに、我がハンドボール界を省りみる時に、残

念ながら、この面に欠けていることは事実であり、今後、ハンドボールが益々充実し、発展していく為には、時代的な背景を踏まえてもっともっと、ハンドボールを科学化し、これを追求していかなければならないと痛感する。したがってこの研修会の目的は、我々が常に、実践指導段階において、悩み、疑問を持っているものを持ち、科学的な目でとらえ、解決し、常に新鮮で、意欲的な指導をすることに心がけることにおいて、真の教育的意義があり、この会の価値感をより高めることにもなるわけである。この意味において、今後、この会が益々、盛大、且、格調の高い充実した会に発展していくことを切に願っている」旨述べられました。

続いて、講演にうつり、ハンドボール医事担当の広田公一先生がトレーニング概論、日本で、一番野球を知っているといわれている神田順治先生が、現代スポーツ論を講演して下さいましたが、両講演とも、指導者にとっても、選手にとっても、大変、プラスになる内容でしたので、概要をあとでお知らせいたします。

次に、ナショナルチームを率いて二カ月間に亘る、ヨーロッパ遠征を行った監督の村田氏は、次のように報告しました。

又指摘されたことは、体力の面で今後、日本選手は、自覚を新たに、充実した考え方をもち、それを実行する努力がなければならぬ。技術の面では、さほど学ばぬのはなかったし、又、練習の内容方法についても、これという新しい方法は見られなかった。只ルーマニアにおいて採用している、インターバル方式やハードトレーニング方式には我々も見解を新たに、日本でも是非、取り入れる必要があると感じた。いわゆる正しく、速い技術の定着には、ルーマニア選手にとって、このトレーニング方法が最適であり、これが勝利へつながるのだというトレーナーの信念のもとに、ひたむきに努力している選手の姿を見た時に、世界を制覇したルーマニアの強さの一端を、うかがえた。

また、我々がコーチを受けた、ルーマニアのあるトレーナーが、大変参考になる意見を述べてくれた。ルーマニアのバレーボールはメキシコのオリンピックで大きな失敗をした。それは、日本流のハードトレーニング方式を、そのまま取り入れたからである。こういう誤ちを、君達は犯してはならない。なぜならば我々は、ルーマニア国民であり、諸君達は、あくまで、日本国民なのだから、ここで学んだことが全て、日本の選手に適用するとは限らない。テクニッ

日本ハンドボール協会公認球

一番よく使はれて居る!

サービス部  
新宿区新宿2丁目電休前  
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK  
東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622) 0746

クというものは、これを入れる大きな袋があり、その中に数多くのテクニクを、一つ一つ入れることだ。テクニクの中には、相当負荷をかけ、更に、時間をかけて得なければならぬものもある。このような方法や手段で、収得されたテクニクを、ゲームにおい

てのプレー時に、最も適したものを、素早く、袋の中から取り出して使い、相手に勝つことである、と述べたが、この言葉の中に、大切な示唆があり、我々ナショナルチームも見たもの感じたもの、コーチされたものを、そのまま、受け入れるのではなく、広い視野の

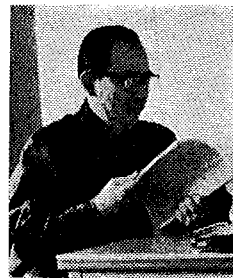
もとに、日本人に適した技術を、日本的な方法で練習し、チーム力向上に努めたいと話された。韓国遠征の荒川監督、北川コーチも、口をそろえて、体面についての強い印象を述べ、「韓国各チームの選手は現時点において、技術や戦術それを生かしたチーム

プレーでは、日本の選手に比べ劣っているが、勝負を決する大切な要素である体面面で、特に日本選手に見られないジャンプ力と持久力において秀れており、現在我々の方が総合力において、一日の長あれど、近い将来、必ず、強敵となることと思う。」と述べた。

特に、ビデオテープ及び十六ミリフィルムを使って、説明したので、参加者に好評を博した。次にスペインで開催された国際審判会議に出席された、山田計氏の報告がありました。これについては、本誌に、すでに紹介されましたので、省略いたします。

# 現代スポーツ論

神田 順 治



スポーツは哲学がなければならぬ。人間がやるのだということ。を最初に言います。現在科学的な体力の方法としてウェイト・トレーニング、サーキット・トレーニングをやるのが一番筋力トレーニングによく又スタミナがつくと言われている。事実生理学的にいえばそうでしょう。しかしスタミナというものは、私の好きな言葉は井上友一郎という作家がフアイティング原田に言ったことですが、「スタミナというのは君のトレーニングで養われるものではない、君の精神力だ」と。彼は又原田に「孤独に徹して自分一人の力で戦わなければいけないという気持ちになった時に初めて神様が与えてく

れるのが人間のスタミナだ」と言ったそうです。スポーツの指導者はそういうことを選手にいうことが必要だと思う。又皆さまに申し上げたいことはこのような、選手に一番大切な言葉を簡単にすばっというために言葉の研究をするところが、僕のスポーツ論です。一番初めに井上友一郎の言葉のことについて話し、はなはだ生理学的でない非科学的なことを言いました。が、やはり人間のやることですから、スポーツは哲学を持たなければならぬと思う。その様なことについて今から申し上げます。皆さんは相当長い間、話しを聞き前に広田君のむずかしい生理学の話

を聞き、この暑さの中なのでそうとうコンディションが悪いと思います。そこで皆さんに眠って下さい。その皆さんを眠らせないで私は、お話をすると、ここで一番勝負をしましよと言いたい。かつてプロ野球の話ですが、プロ野球の新人研修講座をやったス界の大家をつれて来てプロ野球の話させたのです。そうしたら大阪大学の整形外科の先生が背、腰、膝はどうしたら痛めるかというように投球をするのに一番大切なポイントのところの説明をしました。そうしたら一番前にいた選手がぐうぐう寝てしまったのです。それでかかんかに怒って一番大切なことを一生懸命話しているのになん

だともすごく憤慨しました。そこで僕はまことに困ったのですがあとで内村コミッショナーに大阪大学の先生が怒って困ったのだと言ったら「しよがないよ」といわれました。選手の方も「グランドでいくらしばられてもいけれど、こういう所で机に長く座ってむずかしい話を聞かされるのはまったく苦手だ、先生には誠に申し訳ございません。」前の日に練習し、翌朝八時に起きて大阪大学に連れてこられて、むずかしい話を聞かされたのだから考え方によっては寝るのも無理はない訳です。そうしたら内村さんも「君が東大の教授だと威張っているけれど、どんな良いことを言っても聞く方の人にそれを聞かせる技術を持っていなければ、猫に小判なので君が東大の教授だといって威張って、むずかしいことはいくらでも知識があるのだというところをいくら見せびらかしても、聞く方の人がわからなければいくら話してもしょうがない。だから一つでも二つでも選手にわかる様に

話をした方がよい一人もねかせないで話をしろ」といわれました。以後私は必ずこういふところに出て来るとねかせないで話をするといいことにしています。広田君の話を聞いてるとき寝ないで一生懸命聞いていたから今度はそう無理をしなくてもいいと思います。内村さんが、スポーツに一番必要なことは、  
"The worst condition is and the best condition."  
「最悪のコンディションは最良の状態にすることだ。」といわれまします。スポーツにもそれがあつかいという、二つのストライクの後にヒットを打てる人、2ストライクをとられてしまったら、来たボールをバットの芯に当てればいいんだという気になって、的がきちんと定まって腹が座ってくるわけです。だから今日も一番悪いコンディションで話を聞いて、日がたつた時に、あの時は暑かったなと想い出す時に、神田先生があ

あいうことを言ったと暑いと同様に想い浮かぶことが一つでもあれば感銘を受けたということになるのです。

スポーツということは、ワーストコンディションになった時に適切な行動が勝つのであると思う。ワーストコンディションがベストコンディションになるといっても生理学的にはワーストコンディションはワーストコンディションです。ワーストコンディションをベストコンディションにしなければならぬこれがスポーツなので、井上友一郎が言った様に「自分がやらなければだめだ」というようになった時に初めて内に秘められている力、これを発揮するのが「タミナだ」というのです。スポーツはただ単なる身体運動ではない。スポーツは人間がやるのだということを知ってもらいたい。人間の行動は単に身体運動という点から見れば体操は科学的思考の産物で、合理性を必要とするものであるから高い価値があるべきである。ところが、スポーツの方は人間の欲求に答える活動であるから誠に愛好される。そしてスポーツ活動の根底にあるものは勝負である。従って単なる球を投げるとか走るという身体運動としてではなく、又単なる身体運動ということだけではスポーツは理解出来ない。スポーツをやるということは

健康のためなどではなくて、おもしろいから初めたのにすぎないであって、合理性を必要とした体操のごとく理性的ではない。従ってスポーツ活動は衝動的、即ち生命的なものである。それであるからスポーツ技術の指導には、体操のごとく常に身体運動の合理性のみ強調することだけではどうしても充分ではない。スポーツはおもしろいというところから始まっているのだからおもしろいということとをくずさないことである。

自分の経験からいってスポーツのコーチというのはどんなに理論的な正しさがあっても又彼自身スポーツに深い情熱があっても、それを受け入る側に興味を持たせるニューアンスがあるかどうかに関係がある。これがなければ練習をさせればさせる程いじけてくることを知らなければならぬ。コーチが一番注意することの一つである。やたらに猛練習をさせるというのではいけない。筋力トレーニングが3分の2の負荷をかければ良いかとかいろいろのことを言っていたがそれに猛練習することをこの頃ではさけて、サイエニックにやろうとしている。そういうことを生理学的に考えなくてもちゃんとやっていたと思う。飛田穂洲という野球の有名な人がいて、早大の野球部のコーチを六年やって

いた、その人がいつもいっていたのですが早大は猛練習をする、猛練習をするというけれどその様なことは無い。その時に、彼がいった言葉は、「人間は最善ということを考えるが、毎日毎日猛練習をやっていたらすりきれてしまう。最善を考えないで常に良い練習をするということに練習常善というのである。」常に良い練習をするということにしていったのである。もう一つ練習をすることで一番大切なことはくりかえしてやる。くりかえすということは非常につまらないことですから、どうして続けて行くかという事。それから練習をきちんとやること。どんな有名選手でもそれこそスポーツは不断の練習でたえざる練習です。

スポーツの技術というものはどんなにうまい人でも忘れてしまうことがある。ゴルフのことは知らないのですが、ゴルフで有名な理論を説き、技術もうまかった、ヘーゲンという人がいた、そのヘーゲンの悩みという有名な言葉があった。彼の理論的に解明した本を書いた。その翌日にスランプになって。全然プレーが出来なくなつて、そのスランプを脱するのに彼は練習という不可解なものを一年間繰り返さなければスランプから脱せなかつたという有名な話があります。どんな理屈で言ってもこれは練習をしなければいけない。しかもこ

れを繰り返さなければならぬ、常善の練習をしていかなければいけないのです。ヘーゲンの悩みを小林秀雄さんは以下のように述べています。ゴルフアではなんといいてもヘーゲンが一番の有名人名である。その名人がある本屋から頼まれてゴルフの上達法という種類の本を書いた。実地経験から割り出した苦心の理論書は大切であつたが当の名人の方は理論を完成した途端にまったく当らなくなつたのである。ヘーゲンはその思いもかけなかつたスランプからおおよそスポーツというものの魅力の中心にはヘーゲンの悩みがある。自分で通達した動作を分析してこれを理論付けてみるところはヘーゲンにとつて愉快な仕事であつたであろうが上機嫌で仕事を終つてみれば、いやでも肉体の体得した所はかならずしも、頭脳の理解するところではないといふことをみせられる。両者は相違するところではない、ほとんど敵対関係にあるといふことをヘーゲンは今更の様に感じたのであろう、ヘーゲンの永年の努力は肉体と頭脳との働きの一致に向けられたに相違ないが努力するものが肉体であるか頭脳であるかはんぜんとして異なる。彼は練習と呼んできたのであろう。彼は練習の結果この一致を会得して名人になつたの

であらうが、名人になつてもその一致はいつでも紛失する危険にさらされていたのである。次に、そして彼はスランプを脱するのに性質不明の練習以外に頼みになるものはなかつたはずである。練習とは繰返しやらなければならぬ、おもしろくない練習を繰り返してやることは耐えられないことである。平常の練習をいかにやっていくかということ、その際に最善を出させようということに無理がくるのではないかと、問題は練習のやり方ということになるのです。日本の場合にはやたらと猛練習をする。これがやはり武士道的な考え方があり、それより宗教的な考えとしても肉体をさいなむということが非常に精神的なものになる。だからむやみやたらと猛練習をするのが無茶苦茶にへばらしてしまふということが、非常によいスポーツの練習法であるようになる。このあたりには何か問題がある。スポーツを練習する指導のむずかしい所がある。スポーツによってどうなるかはよく解らないが、自発的なハードトレーニングが日本の特徴になる。この点も考えるべき所だと思ふ。たしかに私の経験から言つて野球の選手というのは千本ノックという、のびる迄ノックをやらせる。あれをやらせる方がたしかに良い。ようするにはり

きっている時というのは、むやみに力が入って駄目なのです。へばってもうどうにでもなれという時に、本当に力を抜いてなるべく動かないでプレーするのがです。要するに脱力が出来る状態になるという事は猛練習をした時なのです。その状態が猛練習をしなくても力を抜くということが、筋肉の力を抜くということが出来れば良いのですが、あまり毎回毎回繰り返すやると、その様なやり方というのがまるで動物に芸を仕込んでいるのと同じで思考能力を零にした時に始めて動物的感覚となつてうまくなつて行くが、それをどうするかということになると全く駄目なのです。

スポーツというものは飽迄も情緒的なもので必ずしも科学的な思考の産物ではない、だからスポーツをやることはどうしてもおもしろいということがもてこから始まらなければ駄目だと私は思う。さて、スポーツの名選手は生れるものか、作られるものかという論議があります。代表的な例としてペーブルスという人がいます。これはアメリカの野球の今日を築いた選手、ペーブルスという人はたしかに大選手です。それと並び称される人がタイカップという人です。彼も天才であるわけですが、野球選手のいるんな面から見

て、彼は一九三〇年ヨーロッパ大学ウオタビーストキングという生理学者が彼の身体の精密検査を行なつて、視力、聴力、握力、脚力、神経の安定度、注意力こういうものが全部揃つて理想的だといふのです。普通の人は平均六〇点だしたら彼は九〇点位のものをもっている。二〇〇万に一人位の身体的能力を持っている。それを天才だという。彼はものすごく視力がいいから彼がバットをふればボールが当たりホームランになつてしまふ。それでペーブルスを見たら生まれてくるもので作れるものではないと思ひます。ところがタイカップを見ると彼はマ

インナリーグでさしたる者でもなく、一年目はいい成績を残してないがあの様な大選手になつたこれは実に当人のやる気です。そこでやる気があるかないか、これがスポーツ選手の一番の問題点ではないか、それはやはり本当に好きかどうか、スポーツ指導者というのは本当にほれてほれ抜いた恋人にスポーツがなる様にプレーヤーを育てることが大切で、ほれた女性ならば、あばたもえくぼに見

え、スポーツが好きだとなつたらそのためなら何んでもする様になるから、それを指導する時にその気持をくずさないことが非常に大切なことである。タイカップの自伝が翻訳で出ていますから一読されるとういと思ひます。

それはサテリマンに推センす百冊の図書の中の一つで何んでも一つやりとげようとする根性があるというのはああいう人だから何をやつてもタイカップは成功したのである。彼は、セミプロで試合にいつて、ショット・オーバートのヒットを打つた、その時のバットを通した、その感触が何ものにもかえがたいという、何物にもかえがたいショットオーバートのヒットを打つたバットを通しての快感が魅力で野球を選んだといふのです。

本の軍隊は教官のいうことはやるが、自分では何も出来ない。何か命令されたならばその通りはやるけれどそれ以上は何もやらないという様に、野球でいへば一塁までは出られるけれど一塁に出てしまつたらどうにもならないという様に二塁に走つて行つても監督がそばまで来て教えてくれなければ駄目だということになる。スポーツの指導というものは創造性を殺さない様にやらなければならぬ。あまりむずかしいことばかりいつて折角はれてる者をスポイルしない様にしないことです。いい例は御承知のプロのボーリングで女性のプロボーラーを作ろうといふことを考えたわけですが、その時に考えたことは全然ボーリングなどや

つたことのない女性の中から容姿が麗で運動神経の良い人、要するに運動能力テストをやつて、体力診断テストとかいろんなものがあります。あれをやつてもものすごくいい点をとつた女性を選んだのです。ボーリングは全然経験なし。ボーリングをやつたことのある人だと変な感じがついていてよくないからなのです。理想的なスポーツをやるに向いてる。しかもきれいな女性を選んでそれを合宿させて徹底的に練習させる。それでプロのボーラーを作ろうと考

いる人達の間では、それはだめとなつたのです。そういうサテリマン的な給料をとること、人にいわれてやるのではそれだけのことしか出来ないのです。それが好きでなければプロはだめで、徹底的にそれが好きだということから始まらなければとてもやれないといふのです。前述の方法の様なことでよければプロのボクサーというのは10ランド過ぎたら前に言つたスタミナがあるかないかといふかなくられても何回でもどんなに倒れても立ち上がる様でなければだめです。いい金をもらうとか何かといつていたのはだめで本當にそのスポーツが好きでなければだめだといふのです。

要するに意欲、やる気というのが問題である。どうしてもやる気があるかないかといふところへんが一番問題になると思ふ。やる気といふことで内村さんと以前話をした要するにやる気がある奴が成功するのだといふことになつた。ここで問題が出て来る。やる気がないかあるかといふことで「シゴキ」の問題が関連して来るのです。この7月27日だと思つたのですが、オールスターゲームが終つてプロ野球が再び開かれて一番初めに阪急は近鉄から追いかけて来ているときです。一番大切な試合を西鉄とやつて負けた。負けた時に西本監督は選手を集めてものす

ごく怒った。その時は選手に言ったことは何かというところの中にやる気のない奴がいる。」ということをやったというのです。プロ野球の奴でやる気のない奴がいるのかと思つたのですが、プロもアマも一番大切な奴です。人間というのは前にもいった様に最善は無理なので、常にいいものを出そうと努力すること、これが一番大切な奴で、やる気のない奴なんていやしない筈である。しかしやる気のない奴がもしいた時にどうするかというのを内村さんとも話したので、やる気のない奴は、ぶんなぐつてもやらせなければいけないか、どうかと。やる気がないという話を内村さんが朝日新聞に書いてるので諸君に紹介します。やる気「猛訓練又はしごき」といっただのをあえてスポーツと限らず全で一事に長ずるために必要かくべからざるものである。そしてレスリングやバレーボールが世界一となつた時、八田主義とか大松式とか猛訓練が称賛された一方で、死のしごきといわれた、農大のワシゲル部の事件は世間の強い非難をあびた。両者の違いはどこにあるのかと、その違いの由来は訓練する側と訓練される側の両方に関係がある。第一に訓練する者はその道の経験者であり、ことに訓練される者の体力、技術、気力に成

功しない。何の経験もなく、又深い思慮もなくただ画的に激しい訓練を課する様では危険である。第二は訓練を受ける側の問題であるが、私はなによりも「やる気」のある者でなければ大成は望めないと思う。技術や体力の上での素質も大切だがそれ以上に重要なのは「気力」という精神素質である。私自身若い頃、スポーツのコーチもかなりやつたし又その人生の大方を、学生や若い学者の教育に従事したのだが、スポーツと学問と道は違つても、理屈は同じで、「やる気」のない者は大成しないということを繰り返して経験した。やる気を起こさせるのが教師やコーチの義務だという人もあり、それはたしかに一面の真理であるが、その道でもっとも成功した、人とは、コーチや教師からいわれてやる気をだしたようなものではない。やる気のない者を訓練することが最もむだな、最もこまることである。私の親しくしているスポーツ関係者で高校野球の若い監督として非常な成功をおさめたのがいる。私と彼とはまことに野球のことでは意見があうのだが、ある時一つのことで完全に意見が対立した。彼の場合によつては選手をなぐりつけなければだめだという。善意の暴力質定論を主張したので、私ははなぐらなくてはだめなもの成功の望みはないものとしてあき

らめてしまえという宿命論的の暴力否定論をとつたからである。よく考えてみるとどちらにもそれぞれ理屈がある様だが、又この辺に「しごき」の是非の分岐点がある様に思われる。野球のコーチは一つのバランスのとれたチームを作らなければならぬから中に二、三やる気のない者がいる時は何とかしてこれを他の者のレベルにまで高めなければならぬ。他に変わるものがないとしたら、非常手段に訴えても何とかしなければならぬ。コーチに課せられた責任を思うとたしかに情状酌量の余地は十分である。これに比べると私の暴力否定論は無責任なものである。やる気のないものが数人もいるチームはどんなに皆んなが苦勞しても所詮強くなるはずはない、初めからあきらめてしまえというのだから。私だったら、なぐらなければならぬ者はやめさせてしまひ実際の技術は劣つてもやる気のある者を入れて訓練する方がずっと効果的であると思う。要するに「しごき」にない事である。本當に性根のある者は鍛えるし、そうでない者はしごかない事である。本當に性根のある者はそれこそ言葉通りに死ぬまでがんばつてくれ。実に頼もしい限りである。しかしここで経験に富む名指導者は「しごき」のほどのよさを心得てその域を越えるようなことを決し

てやらない。いかに体力と気力がそなわつていても、人間には限界があるし、個人差がある。このことをわきまえず鍛えるつもりで金の卵をつぶすことはないであろうか？よそながらはらはらして見ていることが二、三にとどまらない。例えば野球でいえばピッチングの場合である。何でも投げ込まれて危険だと思ふ。良いピッチングに欠かせない肩と、肘との関係と筋肉とは非常にデリケートな構造をもっており、ことに不自然で複雑な運動を要する変化球を投げる場合、故障を起しやす。なるべく変化球を少なくすること、これが投手の寿命をのばす最大の秘訣であろう。

織田幹雄さんが、日紡のバレーの練習を見に行つて選手をみて、よくもまあ運動神経の悪そうな女の子ばかりを集めて来たと言つたというのである。身体を見たのではどうしてスポーツにむくとは思えない。だがやる気のある者だけを選んだのでベールスの様な素質のある者を選ぶということは無理なこと、意欲のあるタイプのカップの様な者をつつけてくるしかないのではないかと。いい言葉である。ベールスというのは天才であつたというのは七十八回戦のレコードに書いてあるラベールの字が読めたという、いかに動的刺

ングコースの課程の中にザ・ラングエージというのがある。母国語のこと、日本で言えば日本語である。正しい日本語を言わなければ自分の意を伝えられない。又コーチは顔でこわい顔をしているというのではなく理想の名コーチとは背中でものを言わせるので、後を向いた時に、あつと選手が解るといふことで、前はいくらでも演出が出来る。それから、どうなる事も出来る。しかし背中中は正直だから背中が正しいことがいえる。コーチの背中を見た時に選手が発奮する様にならなければいけない正しい事を正しく伝える。プレーヤーをどうしても自覚に導くための指導には言葉を活用する余地があるのではないかと考える。自覚を持たせる様にコーチをするには言葉の魅力が実に大きな役割を持っている。したがって自主的教育が唱道されている現在、スポーツ指導の根本課題としても、言葉の問題をとり上げる必要があると思ふ。言葉は号令や命令と違って実に繊細微妙である。言葉の働きには、詩と科学によって代表される様に暗示的なものと指示的なものがある。この様な変化に富み、深さのある心と心の交渉の上に大切な役割をしてくれる言葉を働かせることによって初めて感激してスポーツをやらせることができる。さつきから述べている様に動物に

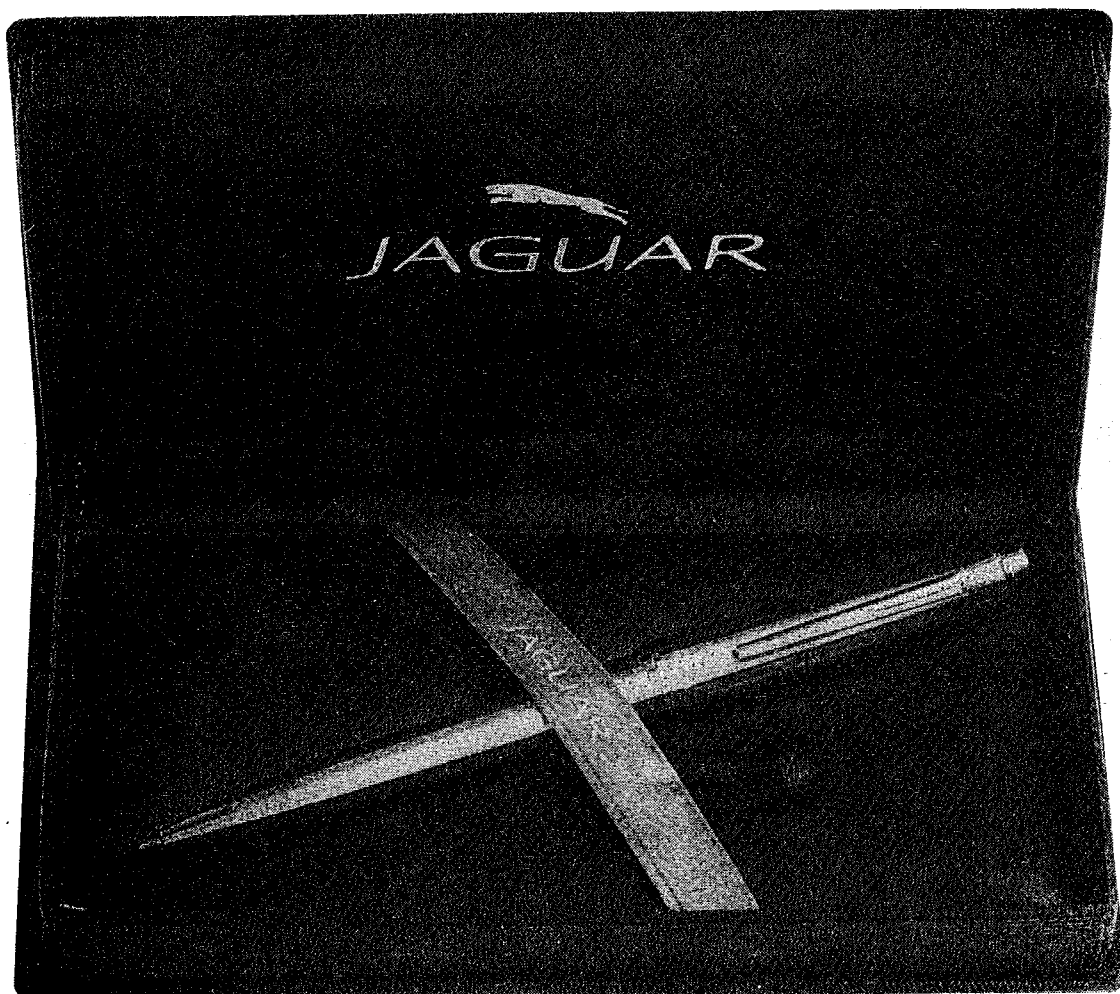
芸を教えるのではない、言葉で正しく指示してそれをやらせることができる。スポーツのコーチは理屈でいくるめてもだめなので、屈をいいくるめてもだめなので、それを実際のプレーでやらなければならぬのだから、いい言葉で適切なこと、簡単に相手の心をゆとり動かす様に言葉をいうこと。ところがどうもスポーツのコーチをする時、やたらと、しつた激励して録音をしたらなにがなんだかわからない様なことではだめであらう。グラウンドで毎日、投げかけている言葉には明るい言葉、楽しい言葉、威圧的な言葉から、罵詈雑言にいたるまで実に多種多用であるが、コーチが特に警戒しなければならない、不要な言葉を決して使わないようにすることである。ひびきの薄い言葉を数多く使用する事は、教室でも避けなければならぬことであるが、特にグラウンドでは絶対に戒めなければならぬ。その場合練習がより発展して行くためには、有用な言葉を最小限に節約して出すという事は真剣に考えておかなければならないと思ふ。そのためには練習場試合場においてプレーヤーの心に希望がわき、落ちつきを生み、積極的な意欲を盛り上らせる様な言葉の研究をしなければと思いたつてその資料、ます古今の名監督、名選手の今日まで語り伝えられている、金言名句を調べてみる

ことにした。その名言の生まれた経過を調べてみると、必ずといってよいほど当時の心境がその主題となつていたのである。それは野球のようなデリケートな点が勝負の分岐となるスポーツにあつては微妙な心理作用が思わぬ波乱を巻き起こす原因となるからであらう。そこでどの様な名言があるかを研究したのだがここではやめる。高等学校の部訓というのを全国の高校にアンケートを出し三百位来たのでそれを皆様に紹介します。あまり画一的なものはどうかと思うのだが、アメリカの野球選手が言っている様に、英雄になるか、ぼか者になるか即ちファールを打つか、ヒットを打つかの違いの本当はこのような話の方が面白いのですが、日本の高校は飛田穂州という人がいった事を皆んなとっているのです。それを紹介して終りにします。

「部訓」スピリットが多い。最後まで気を抜くな、むだなき、むだなき考えをするな、スポーツマンシップの日常化、苦しい時は相手も苦しいのだ、平常の努力なくして栄冠はない、試合は常にベストコンディションで、生活を規則正しくせよ、チームの一員である事を忘れるな、甲子園の七万の目の壁をつら抜く斗魂に燃えよ和、まじめな態度、モットーに忠実であれ、生活と練習は昨日より充実していたか、スポーツマンとしての名誉の誇り、常に気力を充実せよ、猛練習あるのみ、苦しい時は敗戦の時を想え、斗志、根性、努力、これが部訓でほしいところである。

「モットー」グラウンドは道場、人間を作る判断をあやまるな、全力をつくせ一打一打をゆるがせにするな、怠惰と放縦を戒め、明朗で自覚せよ、視力の養成、頭脳鋭敏、大胆、沈着熱心、正確と迅速、静かな斗志、斗志なき者は去れ、汗と涙なき勝利はない、無心に球に向う、ゆっくり堅実に、克己、而して勝て、根性を作れ、明るく伸び伸び楽しい野球、それから飛田さんの野球なのでしようが、球道、究道、求道全人的生活の道をきわめよ、だいたい皆さん同じようなことだが、要するにもう少し研究してやたらいいのではないかと思ふ。私がかういふことをのべたのはアメリカの名監督でビリー・サウスワースという立派な人でこの人が言った言葉を最後に紹介します。彼は彼が監督に就任した時に選手に言った言葉で「私は選手時代に監督の選手に対するあつかい方についてあつて欲しい、こうして欲しいといふことを考へていた事だが、今日私自身が監督になるに當つてその当時の自分の気持を考へてやうて行きたいと思つている。」と言うので





精かなきみから贈りものはジャガー  
精かな かれへ

胸から出す、ノックする、書く……

三菱ボールペン〈ジャガー〉は、すべてに  
スキがありません。

スマートなデザイン、軽快なキャップ  
スライド、ムラのない書き味〈ジャガー〉  
は、行動的な若いあなたに、ぴったりです

精悍なヤツ——

**ジャガー**

三菱ボールペン

¥2000・¥1000・¥800・¥500

本誌恒例  
昭和44年度  
重大ニュース

① 全日本男子世界選手権へ(45年2月)

1972年度のミュンヘンオリンピックの出場権をかけた第7回世界選手権はフランスで行なわれ、田村团长、村田監督以下16名の選手団が遠征。悲願のベストエイト入りはのがしたものの世界のトップレベルに伍す力を示した。

② 積極的だった頂点強化対策

海外トピックス

地元ポーランドが優勝

— ワルシャワ国際—  
世界選手権前の今シーズンヨーロッパにおける最後のビッグトーナメントとして注目されたワルシャワ国際リーグは、1月27日から3日間4ヶ国が参加して行われ、

地元ポーランドとノルウェーが同率となったが、両者の対戦で勝ち点をあげたポーランドの優勝と決まった。	チェコ新	19	(10   8)	14
ノルウェー	19	(9   8)	14	人
ポーランド	19	(12   8)	16	人
チェコ新	26	(15   8)	15	人
ポーランド	12	(7   9)	10	人
ノルウェー	17	(5   9)	14	人

チェコ新	18	(11   6)	13
ポーランド	18	(7   7)	13
ノルウェー	2	勝1敗	②
チェコ新	1	勝2敗	④
ポーランド	1	勝1敗	③
チェコ新	1	勝2敗	④

今年度全日本高校、国体高校の二冠を得た下関中央工(山口)は中国新聞制定の中国スポーツ賞を受賞、また全日本の4大タイトルを独占した大洋デパート(熊本)は、さきの読売日本スポーツ賞部門賞について、このほど西日本新聞社制定の西日本スポーツ賞を贈られた。

③ 全日本男子欧州合宿5・6月  
・タシマイダン杯で3位(7月)  
・国内サーキット実施(9月)  
懸案の世界選手権で上位入りを果たすため、頂点強化には、特に力が入れられ、欧州遠征、8次に亘る国内合宿が行なわれ、欧州一流国にヒケをとらないチーム力に成長することができた。

④ 大洋デパート全国4大タイトル独占

大洋デパートは全日本総合(8月)、国民体育大会(10月)、全日本選抜(12月)、全日本実業団(2月)の4大タイトルを独占し愛知紡(36)、田村紡(42)に続いて、三度目の偉業をなした。

⑤ 下関中央工、全日本高校2連勝(8月)、国民体育大会高校部(10月)で優勝

⑥ 日体大男子の学生界全タイトル獲得と韓国遠征(7月)

⑦ 日本協会合議制から再び理事長制へ(9月)

⑧ 日体大男子の学生界全タイトル獲得と韓国遠征(7月)

⑨ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑩ 初の全国自衛隊選抜大会開く

⑪ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑫ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑬ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑭ 東女体大は念願の初優勝を果した。

中央工は今年はメンバーが変わり苦しんだが見事二冠を獲得、一方高校女子の部では新居浜市商がインターハイ、国体の二冠を獲得している。

⑤ 日体大男子の学生界全タイトル獲得と韓国遠征(7月)

⑥ 日本協会合議制から再び理事長制へ(9月)

⑦ 日体大男子の学生界全タイトル獲得と韓国遠征(7月)

⑧ 日体大男子の学生界全タイトル獲得と韓国遠征(7月)

⑨ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑩ 初の全国自衛隊選抜大会開く

⑪ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑫ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑬ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑭ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑮ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑯ 東女体大は念願の初優勝を果した。

このところ毎年開かれている同大会は駒次に朝鮮大附高を迎え開かれ、一分一敗の成績だった。

⑧ 高体連ハンドボール部創立20周年(8月)

⑨ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑩ 初の全国自衛隊選抜大会開く

⑪ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑫ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑬ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑭ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑮ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑯ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑰ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑱ 東女体大は念願の初優勝を果した。

⑲ 東女体大は念願の初優勝を果した。

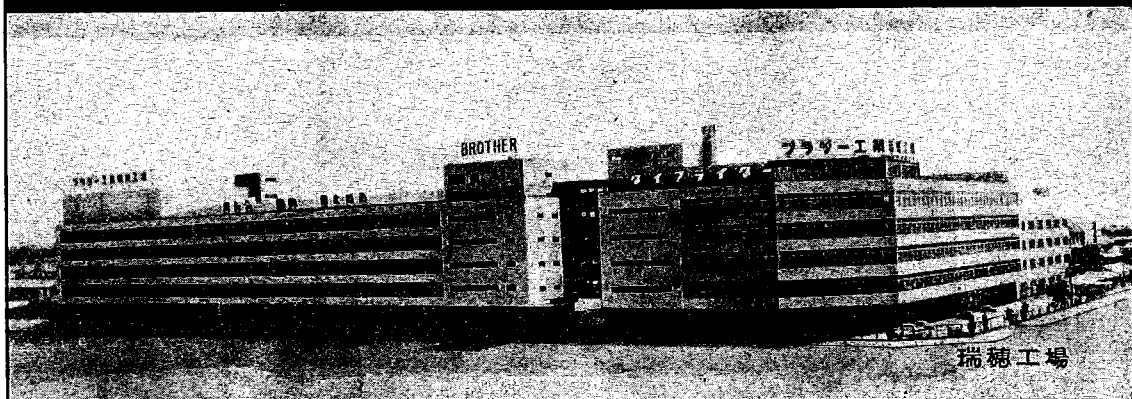


ゴールドスター  
ハンドボール  
シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京

# 「シンメーカー」から 「各種機器の総合メーカー」へ



瑞穂工場

ブラザーはミシンの技術  
を母胎に新製品の開発  
に努め、多角化を進  
めてまいりました。  
現在ブラザーには、ミ  
シン、編機、事務機、  
家庭電器、工作機、楽器  
の6つの部門がありま  
すが、いずれもその優れ  
た品質で、世界の市場  
をリードしております。  
ブラザーはこの成果に  
甘んじることなく、さ  
らに自社技術の開発と  
取り組み、各種機器の  
総合メーカーとして一  
段と飛躍すべく胎動を  
始めております。

## BROTHER ブラザー



ブラザー工業株式会社  
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35  
TEL(811)2511 大代表



# 部長就任ご挨拶

## 徳永陸繁

徳永陸繁新部長の略歴

- ▼大正六年九月七日生れ、五二才
  - ▼日本体育大学卒業
  - ▼福岡県朝倉郡朝倉町出身
  - ▼現職、都立世田谷工業高校教諭
- 従来の主な役職
- 昭和16 全日本学生ハンドボール連盟委員
  - 昭和21~43 (二十五年間) 日本ハンドボール協会常務理事
  - 昭和24~45 (二十二年間) 全国高等学校体育連盟ハンドボール部副部長
  - 昭和21~45 (二十五年現在に至る) 東京都高体連ハンドボール部副部長
- 戦前は学生の第一戦選手として活躍、戦後も国民体育大会をはじめとして、各種の大会で活躍し、その後、審判コーチとして、後進の指導にあつた。

全国高体連ハンドボール部が発足して早くも二十年過ぎ、この間、初代部長河島武四郎先生、菅是敬先生、そして今度公務のご都合により児王九十先生のご退任は誠に時の流れとは云え、高校体育が大きな曲りかどにきているだけに残念なことであります。

はからずも、今度不肖私とその後任として皆様のご支援のもとに推挙されましたことは、感謝にたえぬところでございます。今後のこの大任に対しましては重責では

### 全国中学校指導者講習会

#### 開催の検討

全日本教職員連盟では、12月17日、静岡県修善寺に山田理事長以下16名の理事が集り、理事会を開き、44年の総括、45年の方針を審議した。内容は、45年度全日本教職員選手権大会の開催地について、一、全国中学校指導者講習会開催、一、連盟運営事業の基本方針、一、研修会の持ち方、研究調査の強化などであった。

特に中学校指導者講習会は重要

ありますが、今日まで奉仕的な努力のもとに築かれた諸先輩の二十年の尊い歴史の基盤と、一層教育的な観点に立って、主体性の確立につとめたいと存じます。

特に最近、学校体育と社会体育との関連が極めて微妙なものとなっており、この発想の動機はともかく、高校スポーツが、クラブ活動またはその自然的な発展であるかぎり、どこまでも教育的な配慮のもとに行はねばならず、従って学校教育の一環ではなからうかな問題であるので、協会と十分な協調をはかる。文部省の後援を受けられるように協力を依頼するなどの方針が決定された。

#### 東海学連新役員決まる

東海学生連盟は昭和45年度新役員を次のように決め発表した。

また今年の春秋リーグ戦は春が4月25日から5月3日までの5日間、秋が10月17日から11月7日までの5日間で、それぞれ一日だけ室内(愛知県体育館)を使用する予定。なお今シーズンから女子に

と信じます、何よりもスポーツを愛好する師弟一如の努力のもとに建設された全高体連ハンドボール部の歩みだけに私共は現実に則した正しい学校教育のあり方を追求し、一層この高校ハンドボール界の質的向上と量的な拡大につとめることが責任ではないかと存じます。

多角的にご協力の程、部長就任にあたってよろしくお願い申し上げます。

愛知教育大が新加盟する。

- 【役員】▽会長 梅村清明(中京大学々長)▽理事長 藤松博(名工大OB)▽審判部長 宇津野年一(日体大OB)▽委員長 梶川佳孝(中京大)▽副委員長 矢崎正一(名古屋大、細井孝徳(中京大)▽会計 小林広明(名城大)
- 中四国学連役員も
- 中四国学生連盟の昭和45年度役員は次のとおり決まった。
- ▽会長 秋山政彦▽理事長 藤田信義▽委員長 木村洋一(松山

商大)

#### 長野協会理事長に佐藤氏

長野県協会は新役員を次のとおり決め発表した。なお事務局が、長野県佐久市大字岩村田側、北佐久農高内、電・佐久(7)四〇一〇に移転した。

- 【役員】▽会長 戸塚一(県会議員)▽副会長 木下秀男、白石国男▽理事長 佐藤甲子勝(北佐久農高教諭)▽事務担当理事 小田川利男、加藤雅之

日本ハンドボール協会検定球

東京

新製品！

チェコ型

タチカラ株式会社

大阪

# 高体連新部長に徳永陸繁氏

全国高体連ハンドボール部全国委員会は1月31日東京岸体育会館で開かれ、児玉九十部長(明星学園学長)の辞任を承認した後、ただちに新部長の選出を行った結果、副部長徳永陸繁氏(日体大出、都立世田谷工高教諭)の昇格を推せん多数で決定した。児玉前部長は昭和40年からこのポストをつとめられていたが学園業務の多忙でかねてから辞意をもらされていたもの。

全国高体連ハンドボール部長は

## 全日本学生ハンドボール連盟規約(全文)

全日本学生連盟は本誌既報のとおり昨年12月の代表者会議で規約を大中に改正した。  
新規約による役員選出は3月中旬に各地域学連で行われ、4月に初会合のあと学連新執行部を決定する予定。

- …第1章 総則…○  
第1条 本連盟は全日本学生ハンドボール連盟と称する。  
第2条 本連盟は東北北海道、関東、北陸信越、東海、関西、中国四国、九州の各地域連盟で組織し地域の範囲については総合役員会の承認によって決める。  
第3条 本連盟の事務局を東京都渋谷区神南一丁目一の日本ハ

日韓高校交歓スポーツ競技会のハンドボール種目に女子を加えることを承認、韓国側の要請があれば今夏は男女の代表を送ることになった。  
(注) 韓国協会は日韓高校交歓競

## 実連理事長は田中氏再選

全日本実連理事会は2月8日名古屋で開かれ、理事長に田中滋章氏(タヨシ産業、名大出、33才)を再選した。また副理事長も平出一氏(日進商會)が引きつづき勤めることに決まった。  
また、規約の一部改正を行い「役員

- 一、全日本学生ハンドボール選手権の開催  
一、全日本学生選抜東西対抗ハンドボール試合の開催  
一、その他競技会の開催  
一、国際学生競技会の開催及び代表選手団の派遣  
一、学生ハンドボールに関する調査と研究  
一、学生ハンドボールの指導奨励  
一、その他本連盟の目的達成に必要な事業  
○…第3章 役員…○  
第6条 本連盟には次の役員を置く  
一、会長 一名  
一、副会長 若干名  
一、顧問 若干名  
一、参与 若干名  
一、理事長 一名  
一、理事 第10条に定めた数  
一、委員長 一名  
一、副委員長 若干名  
一、委員 第12条に定めた数  
第7条 役員任期は一年間とし再任を妨げない  
第8条 会長は総合役員会において推せんし、本連盟に関する一切の事務について統括し、本連盟を代表するとともに総合役員会を招集し、その議長となる。  
第9条 副会長は総合役員会において推せんし、会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する  
第10条 理事は第2条に定めた各地域連盟から一名を選出する外会長は地域連盟の数を越えない範囲で理事を委嘱することができる  
第11条 理事長は理事会により選出され、会長の指示を受け会務を総理する。理事長は委員会に出席することができる  
第12条 委員は第2条に定めた各地域連盟より各二名を選出するほか、地域連盟において加盟校10校に対し一名を選出する。  
第13条 委員長は委員の互選による。委員長は委員会を招集しその議長となる。  
第14条 副委員長は委員の互選に

より選出し、委員長を補佐し委員長事故ある時はその職務を代行する

第15条 理事は本連盟加盟校の出身者、委員は本連盟加盟校の学生でなくてはならない。

○：第4章 会議：○  
第16条 本連盟には左の会議を置く

- 一、総合役員会
- 一、理事会
- 一、委員会

第17条 総合役員会は本連盟の最高議決機関とし、総合役員会に討議される事項は次のとおり

- 一、事業計画
- 一、国際競技会代表の承認
- 一、予算の審議
- 一、決算の承認
- 一、規約の改廃
- 一、役員承認または決定
- 一、その他の重要な事項

第18条 本連盟の定例総合役員会は毎年2回とし全日本学生ハンドボール選手権の前日と、年度末に理事長が招集して開催する

会長が必要と認められた時は理事会の過半数以上の請求があった時は会長はそのつど臨時総合役員会を招集できる。

第19条 委員会は総合役員会の議決にもとずき理事会とともに本連盟の運営にあたる

第20条 本連盟の定例委員会は定例総合役員会の開かれる前の24

時間以内に委員長が招集して開催する

第21条 本連盟の臨時委員会は、臨時総合役員会の開かれる前の24時間以内に委員長が招集して開くことができる

第22条 本連盟の会議を招集する時は少なくとも会議の日より15日前に議題、日時、場所を各役員に通知しなければならぬ。ただし、緊急の場合はこの限りではない。

第23条 会議は過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数の同意を経て決定する。

ただし、可否同数の場合は議長がこれを決定する

第24条 本連盟の会議に出席できない場合は他の役員に議決権を渡すことができる。この場合、委任した役員は出席したものとみなす。

○：第5章 登録：○  
第25条 一、本連盟の加盟校は各年度定められた期日までに各地域連盟に登録された学校及び選手とする。ただし特別の事情ある時は総合役員会の承認を得て期日後の登録を認める。

各地域連盟は各年度定められた期日までに本連盟に必要な手続きを完了する。

第26条 登録のない学校、選手は本連盟の主催する競技会に参加することはできず、国際競技会

などの代表になることもできない。

第27条 選手の登録は同一学部につき4回（入学時から4ヶ年間のみ）まで認められる。ただし同一学部4回のみで例え回数が残っていても転校による再登録は認めない。医学部学生については6ヶ年を適応する

○：第6章 会計：○  
第28条 本連盟の経費は次の収入をもって当てる

- 一、加盟金（登録金）
- 一、寄附金
- 一、その他の収入

第29条 本連盟の加盟金（登録金）は総合役員会において決する。

第30条 本連盟の資産は理事のなから選出された会計理事と委員のなから選出された会計委員によって保管される。

第31条 本連盟の予算は総合役員会において決定され、会計は総合役員会において決算報告とその承認を得なければならぬ。

第32条 本連盟の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終了とする

○：第7章 事務局：○  
第33条 理事長は理事、委員、職員などをもって事務局を構成し本連盟の事務執行の責任を負う

第34条 本連盟は事務処理のため職員をおくことができる

○：第8章 附則：○

第35条 本連盟の名譽を損し、または本連盟の規約及び決定にしたがわぬ加盟校または地域連盟は理事会の議決により試合出場停止または除名に附せられる。

第36条 本規約改正及び附加は理事数の過半数の賛成を必要とする。

第37条 本規約の運営に必要な事項の細部については理事会の議決を経て別に細則を決めることができる。

第38条 第1章第2条の地域連盟の範囲は次のとおりとする。

- 〔東北北海道〕 北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
- 〔関東〕 東京、千葉、神奈川、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨
- 〔北陸信越〕 石川、富山、福井、長野、新潟
- 〔東海〕 愛知、静岡、岐阜、三重、滋賀
- 〔関西〕 大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山
- 〔中国四国〕 広島、山口、岡山、鳥根、鳥取、愛媛、香川、高知、徳島
- 〔九州〕 福岡、大分、長崎、佐賀、宮崎、鹿児島、熊本、沖縄

第39条 本規約は昭和44年12月22日より施行する。

〔会長並びに委員長選出の協定〕  
昭和38年9月の会議で左記の協定事項が存在している。

第1項 事務局所在地との関連において本連盟の円滑な運営を図るため会長は関東学生ハンドボール連盟会長を、委員長は関東学生ハンドボール連盟委員長を、理事は関東学生ハンドボール連盟副会長を、同委員長が交代した時は処理後はじめて総合役員会で承認をうけるものとする。

第2項 前項の協定は恒久的な効力をもつものではなく総合役員会でもいつでも改廃できる。

〔大会運営上の協定〕  
協定日時不明ながら左記の協定も存在している（一部昭和44年11月改正）

第1項 全日本学生選抜東西対抗ハンドボール試合の円滑な運営のため東北北海道、関東、北陸信越を「東日本」、東海、関西中国四国、九州を「西日本」とする。

第2項 全日本学生選抜東西対抗ハンドボール試合に選出された学校、選手の遠征経費については各地域連盟に一任し、全日本学生ハンドボール連盟及び主管連盟は一切負担しない。

### 協 定 事 項

# 住友化学菊本が初優勝

## 西日本一般男子選手権

第9回西日本一般男子選手権は1月24、25日松山市・松山商大球技場に西日本4地域の代表と地元代表それに前回優勝の大阪イーグルスなど10チームが参加して開かれた。

大きな波乱もなく、ベストフォアには順当な顔ぶれが進み、決勝は6連勝を狙う大阪イーグルスと住友化学菊本(愛媛)の対戦となった。

全日本実業団選手権を控えて上り調子の住化は、前半から速い動きで試合の主導権を握り、後半もイーグルスの追撃を巧みに封じて快勝、初優勝を飾った。

この大会で実業団チームが優勝したのは初めて。

▽1回戦

全倉敷	27	1611	1113	24	大分教員
岡山					(九州・大分)
徳山	24	915	104	14	住友金属
(中国・山口)					(近畿・和歌山)
▽準々決勝					
高松	19	811	106	16	愛媛教員
(四国・香川)					(愛媛)
長崎教員	23	149	73	10	坂出常盤
(九州・長崎)					(四国・香川)

大阪イーグルス 35 (2411-8) 13 全倉敷 (大阪)

住友化学菊本 24 (1014-6) 11 徳山 (愛媛)

▽準決勝

大阪イーグルス 24 (1212-8) 15 高松

住友化学菊本 20 (281-5) 10 長崎教員

▽決勝

住友化学菊本 19 (109-8) 14 大阪イーグルス

得0021250220

阪崎川上尾木岡浜井塚村

【大島広井松青北奥福檜木

化】原行代藤藤海石剛野井嶺山

得0013536100000

【住友化学】

得0013536100000

【住友化学】

得0013536100000

【住友化学】

得0013536100000

【住友化学】

得0013536100000

【住友化学】

中部工大 15 (69-4) 9 沖繩大

中部工大 18 (810-5) 10 沖繩高校

全沖繩 17 (611-8) 14 中部工大

得00230004410000

【松浦野田岡湖島智見原川田

部】

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

得00230004410000

【平杉中岩松馬村越駕禰早前

## 各地の記録

仙台大が初の栄冠

全和洋は3年連続優勝

第6回東北総合室内選手権は1

月24、25の両日山形県宮体体育館に

男子10、女子9チームが参加して

行われた。

男子は仙台大(宮城)、岩手教

員が地力を示して決勝に進み、進

境を示す仙台大が前半のリードを

守り切って強豪・岩手教員を降し

初優勝を遂げた。宮城代表の優勝

は3年ぶり。準々決勝で仙台大を

苦戦におしやっした湯沢高(秋田)

の健斗が光った。

女子は予想どおり全和洋(秋田)

と宗形製作所(福島)の決勝となり

攻守に安定した力を持つ全和洋が

制勝、3年連続の栄冠を握った。

▽男子1回戦

下北手ク 16 (97-5) 9 岩瀬農高

(秋田) 20 (614-2) 10 大石田高

(宮城) 27 (1314-7) 9 青森商

東根工 (山形)

▽同準決勝

岩手教員 22 (1111-15) 6 東根工

仙台大 14 (113-7) 13 盛岡商

▽同決勝

仙台大 16 (106-104) 14 岩手教員

▽女子1回戦

宮三女O 9 (72-35) 8 小高農高

G(宮城) 9 (72-35) 8 (福島)

▽同準々決勝

米沢女高 8 (31-1) 4 岩手女高

(山形) 8 (31-1) 4 (岩手)

六郷女高 7 (41-1) 3 竹田女高

(秋田) 7 (41-1) 3 (山形)

宗形製作所 6 (21-1) 2 花巻高

(福島) 6 (21-1) 2 (岩手)

全和洋 20 (1010-2) 3 宮三女O

(秋田) 20 (1010-2) 3 G

▽同準決勝

全和洋 13 (81-2) 2 米沢女高

宗形製作所 10 (51-10) 1 六郷高

▽同決勝

全和洋 14 (71-2) 5 宗形製作所

イーグルス、宗形おさえる

女子はスタースが連勝

優勝を飾った。

女子は大阪スターズが地力を示して連勝。

▽男子準々決勝

雪陵ク 15(6)10 14 全大阪大

大阪イー 22(12)10 21 寝屋川ク

グルス 11(6)4 13 大体大ク

宗形製作 17(11)4 9 13 大体大ク

所 11(6)4 9 13 大体大ク

松ヶ枝ク 棄権 THク

▽同準決勝

大阪イー 22(12)10 14 雪陵ク

グルス 11(6)4 9 13 大体大ク

宗形製作 25(12)13 6 5 11 松ヶ枝ク

所 12(13)6 5 11 松ヶ枝ク

▽同決勝

大阪イー 23(8)15 10 10 20 宗形製作

グルス 7(4)2 2 6 寝屋川ク

▽女子準決勝(11回戦)

大阪イー 11(4)4 4 6 寝屋川ク

大谷ク 10(1)2 0 0 7 大体大ク

▽同決勝

大阪スターズ 7(3)1 1 3 大谷ク

▽男子準々決勝

博送ク 14 13 香椎ク

若松ク 19 17 小倉工OB

福岡教大 24 15 愛球会

西南ク 22 17 宗像ク

▽同準決勝

若松ク 13 12 博送ク

西南ク 17 13 福岡教大

▽同決勝

西南ク 18 10 若松ク

▽女子準決勝(11回戦)

明善ク 13 14 筑紫女園ク

古賀ク 8 7 福岡女ク

▽同決勝

明善ク 20 14 古賀ク

三春台ク、日本発条を破る

▽神奈川県室内選手権(1月・横浜)

▽一般男子準々決勝

神奈川教員 23 17 法ニク

日本発条 20 10 法工ク

セントラル 17 10 相友ク

自動車 24 10 K K C

三春台ク 24 10 K K C

▽同準決勝

三春台ク 13 9 セントラル

日本発条 23 17 神奈川教員

▽同決勝

三春台ク 15(10)5 12 日本発条

▽同女子決勝リーグ

神奈川選抜 11 4 大津高OG

大津高OG 8 5 南高OG

神奈川選抜 6 3 南高OG

【順位】①神奈川選抜②大津高OG③南高OG

桜丘 17 4 日野

少年工科 10 6 三浦

大和 11 8 多摩

▽同準決勝

一商 11 1 桜丘

大和 10 3 少年工科

▽同3位決定戦

少年工科 9 7 桜丘

▽同決勝

一商 9(4)1 4 大和

▽同女子準々決勝

二俣川 8 5 大津

北鎌倉 9 2 市立川崎

江南 17 1 明倫

上溝 4(分)4 平沼

抽せんで上溝高の勝

▽同準決勝

江南 15 6 上溝

北鎌倉 8 5 二俣川

▽同3位決定戦

二俣川 18 4 上溝

▽同決勝

江南 6(3)2 2 北鎌倉

富士製鉄、再び首位へ

▽第16回愛知県実業団リーグ(1月・名古屋市体育館)

富士製鉄 34 7 三菱重工

日本碍子 14 11 トヨタ車体

タヨシ産業 22 18 ブラザー工業

日本碍子 24 11 業

トヨタ車体 25 22 三菱重工

大同製鋼 12 8 タヨシ産業

富士製鉄 25 6 大同製鋼

日本碍子 26 17 タヨシ産業

ブラザー工業 26 16 三菱重工

富士製鉄 25 10 日本碍子

トヨタ車体 25 7 業

大同製鋼 不戦勝 三菱重工

大同製鋼 22 8 日本碍子

トヨタ車体 25 13 タヨシ産業

富士製鉄 24 9 ブラザー工業

日本碍子 不戦勝 三菱重工

大同製鋼 14 12 トヨタ車体

富士製鉄 24 10 タヨシ産業

【順位】①富士製鉄6戦全胜②大同製鋼5勝1敗③日本碍子4勝2敗④トヨタ車体⑤タヨシ産業⑥ブラザー工業⑦三菱重工

小祿(女)強味みせる

▽第6回全沖縄高校選手権(1月首里高)

▽男子準々決勝

豊見城 13 6 真和志

那覇 記録不明 興南

沖繩工 13 10 沖繩

那覇商 記録不明 糸満

▽同準決勝

那覇 13 12 豊見城

那覇高 15 9 沖繩工

確めてください! MIKASA

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性——世界に誇る(ミカサ)の価値ある芸術品です!

HAND BALL



日本ハンドボール協会検定球

明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡



▽同決勝  
那 覇 12(7-5-3) 8 那 覇 商  
第一女 7(4-1-1) 3 山陽女

▽女子準々決勝  
小 祿 17-2 浦 添  
興 南 8-5 首 里  
知 念 記録不明 豊 見 城  
糸 満 記録不明  
▽同準決勝  
小 祿 11-7 知 念  
興 南 10-1 糸 満  
▽同決勝  
小 祿 11(5-0-4) 4 興 南

▽同準決勝  
石 橋 10-6 足 利 工  
▽同準決勝  
宇都宮工 13-9 馬 頭  
▽同準決勝  
足 利 商 8-7 石 橋  
▽同決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商  
▽同準決勝  
木 島 19(10-0-3) 3 足 利 商

長崎工 14-6 鹿町工  
佐世保北 32-2 西海学園  
口 加 12-11 鹿町工  
口 加 16-3 西海学園  
佐世保北 15-5 鹿町工  
口 加 11-6 長崎工  
鹿町工 不戦勝 西海学園  
長崎工 12-7 佐世保北

佐世保北 15-5 鹿町工  
口 加 11-6 長崎工  
鹿町工 不戦勝 西海学園  
長崎工 12-7 佐世保北  
【順位】①口加4戦全勝②初優勝  
②長崎工3勝1敗③佐世保北④鹿町工⑤西海学園

長崎工 15-2 長崎北  
佐世保商 19-2 島原南  
島原農 15-0 佐世保北  
長崎北 13-4 島原南  
佐世保商 16-2 佐世保北  
佐世保北 10-4 長崎北  
佐世保北 9-1 島原南  
佐世保北 5-2 長崎北  
島原農 不戦勝 島原南

島原農 不戦勝 島原南  
【順位】①佐世保商4戦全勝②島原農3勝1敗③佐世保北④長崎北⑤島原農  
高校男子は添上案勝

高校男子は添上案勝  
▽第21回奈良県選手権(1月・奈良育英高)  
▽一般男子1回戦(3試合)  
奈良高OB 14-9 東大寺OB  
添上OB 20-9 自衛隊  
奈良OB 2-0 斑鳩

奈良高OB 14-9 東大寺OB  
添上OB 20-9 自衛隊  
奈良OB 2-0 斑鳩  
▽同準決勝  
生駒 21-10 奈良高OB

生駒 21-10 奈良高OB  
▽同準決勝  
東大寺 8-4 教大附

東大寺 8-4 教大附  
▽同準決勝  
東大寺 11-5 斑鳩  
教大附 11-4 平群  
生駒 4-1 都南  
棒原 7-2 三郷

棒原 7-2 三郷  
▽同準決勝  
東大寺 8-4 教大附

東大寺 8-4 教大附  
▽同準決勝  
東大寺 11-5 斑鳩  
教大附 11-4 平群  
生駒 4-1 都南  
棒原 7-2 三郷

棒原 7-2 三郷  
▽同準決勝  
東大寺 8-4 教大附

東大寺 8-4 教大附  
▽同準決勝  
東大寺 11-5 斑鳩  
教大附 11-4 平群  
生駒 4-1 都南  
棒原 7-2 三郷

棒原 7-2 三郷  
▽同準決勝  
東大寺 8-4 教大附

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒  
▽同決勝  
奈良OB 15(8-7-3) 7 生駒

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

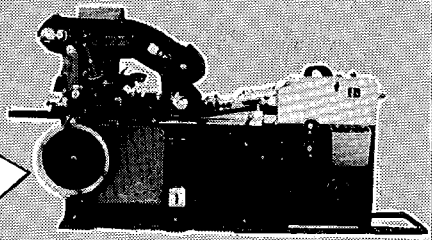
生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

生駒 18-4 棒原  
▽同決勝  
生駒 18-4 棒原

中学大会記録

北信越協会では45年度の主な日程を次のように決めた。  
▽第6回北信越高校(6月下旬、富山県)▽第22回全日本総合北信越予選会(同、長野県)▽第25回国体北信越予選会(8月15、16日、石川県)▽第1回北陸3県中学校総合選手権(8月17日、石川県金沢市)

記 今年度もいよいよ押しつ後、残り、残すところ一月と集、なりました。世界選手権編、やはり壁は非常に厚かったです。しかし、ここでくじけたりしては、どうにもなりません。たたかかれても、頂点を目指して、ガンバラなければなりません。今こそ、日本のハンドボール界が、世界のトップレベルを目指し、総力をあげる時がきているのです。力を合せ、ガンバリましょう。(TF)



高性能機パーフェクトのほかにも  
たくさんのおすぐれた印刷機材があります

## 印刷機械

●パーフェクト(全自動日四裁凸版印刷機) ●各種断裁機

## 材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

## 母型 活字 写真製版



### 千代田印刷機製造株式会社

本 社 東京都千代田区神田猿樂町1の4 電話 (03)(292)2011代~8  
横浜支社 横浜市西区高島2丁目10番20号 電話(045)(441)6782代~4  
福岡支社 福岡市御供所町3番36号 電話(092)(28)3960・0153  
千葉支社 千葉市市場通り122 電話(0472)(27)6463・(22)3979  
立川工場 昭島市東町1丁目1番5号 電話 (0425)(23)3471~3  
九州工場 佐賀県小城郡牛津町 電話 (95207)0072

日本ハンドボール協会編  
「ハンドボール」

第七十三号

昭和四十年六月七日  
第三種郵便物認可  
昭和四十五年二月二十五日印刷  
一月一日発行  
発行所  
日本ハンドボール協会

渋谷区神南一丁目  
大代表(街)二二一  
振替東京五八三三八番

編集兼  
発行人  
保坂周助

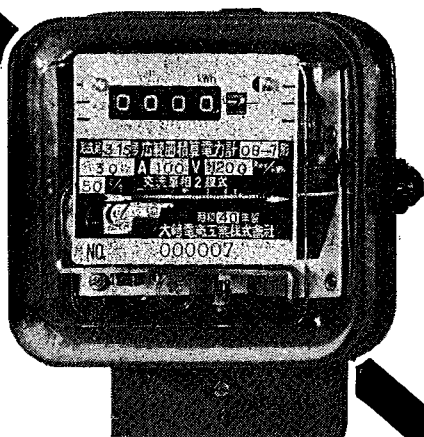
定価百五十円  
11年間購読

# Osaki

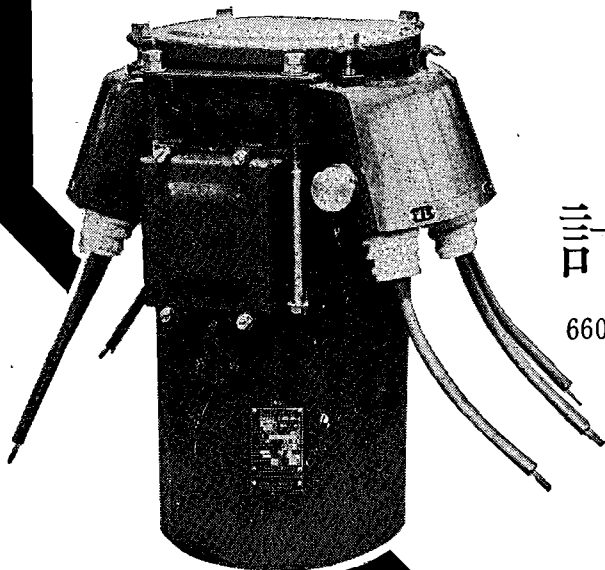
## 最高の確度と信頼度を持つ

### 電力量計

- （单相用） OB-7形
- （3相用） OW-7形
- （精密用） OP-3形



OB-7形広範囲单相積算電力計



### 計器用変成器

6600V用重予型PCT PDN形

#### —主要製品—

- 電力量計・電流制限器
- 計器用変成器・電圧調整器
- 配電盤・分電盤・制御盤



## 大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区東五反田2-2-7 電話東京(443)7171代表  
 蒲田工場 東京都大田区多摩川2-8-1 電話東京(732)6511代表  
 埼玉工場 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話0492-61-1205